

第7回

長野県移動性・安全性向上検討委員会

日時 平成22年12月13日(月)

14:00～16:00

場所 長野県庁議会増築棟

401号会議室

議事次第

開 会

1 開催あいさつ

2 委員紹介

3 議 事

(1) これまでの経緯と取組について

(2) 新たな仔仔・ハリアー箇所の抽出について

(3) まとめ・今後の方針

閉 会

長野県移動性・安全性向上検討委員会

第7回 委員会資料

平成22年12月13日

1. 概要

1 - 1. 委員会の経緯等について

1. 概要

委員会の経緯

第1～6回の内容

PDCAサイクル

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

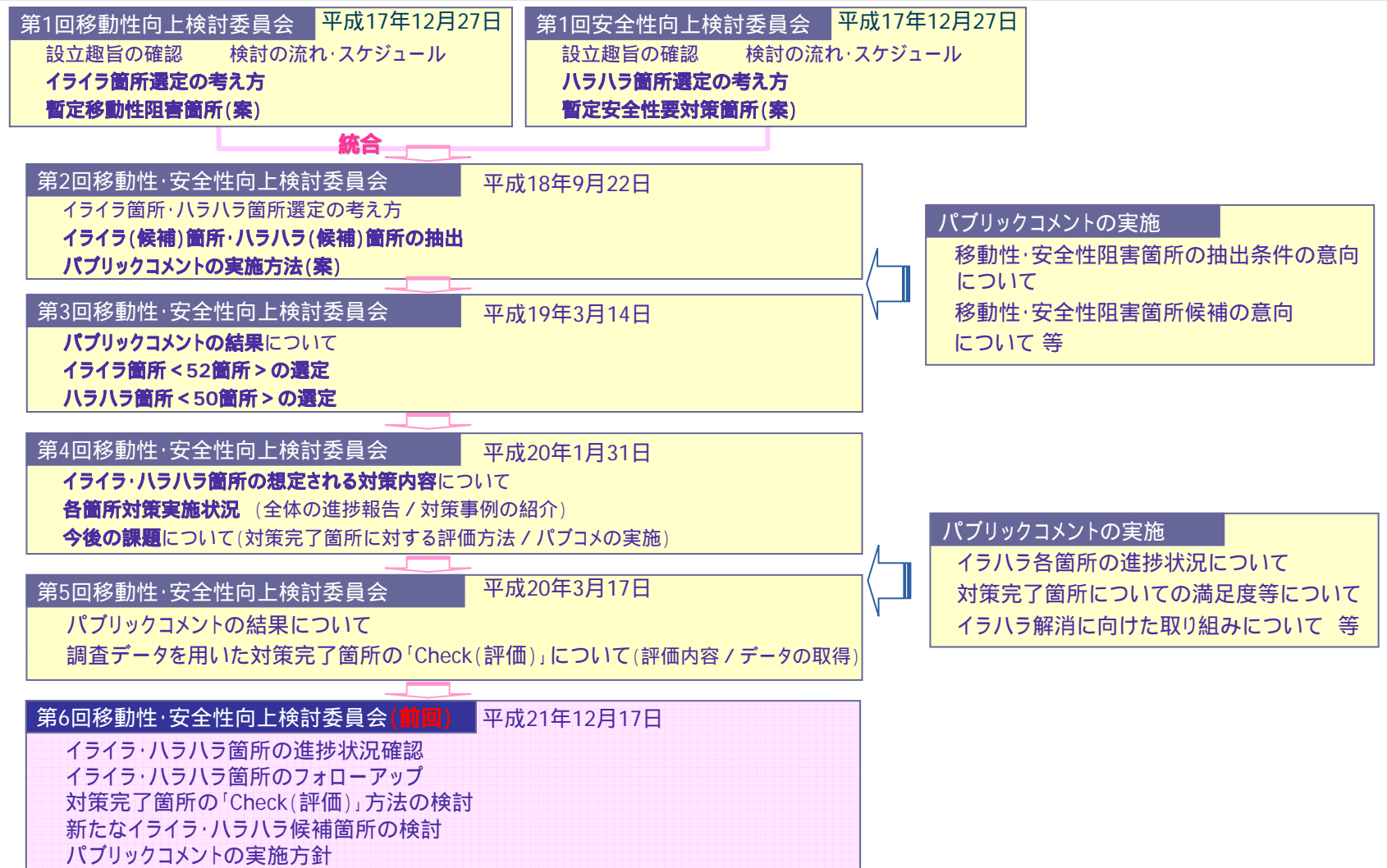
7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

➤ 本委員会では、長野県の移動性・安全性の阻害要因を分析するとともに地域住民の実感・意見などを踏まえ、阻害度が大きい“イライラ”・“ハラハラ”箇所の抽出検討・公表、及び、“イライラ”・“ハラハラ”箇所の解消に向けた方針検討を行うことを目的としています。これまでに実施した第1～6回委員会での検討内容は、以下のとおりです。



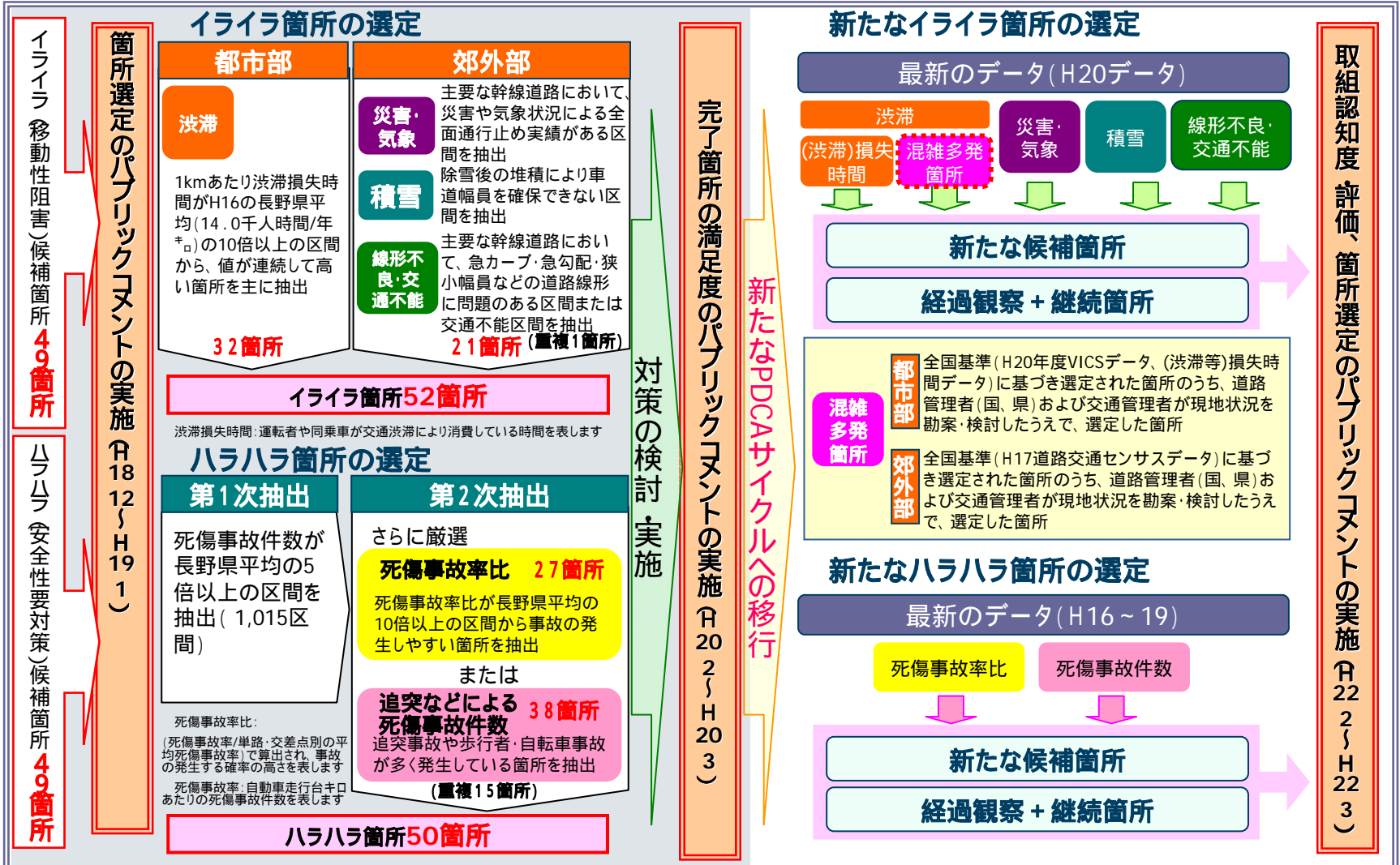
1 . 概要

1 - 2 . 前回まで (第 1 ~ 6回委員会) の内容

1. 概要
委員会の経緯
第1~6回の内容
PDCAサイクル

- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォロアップ
- 6. 新たな箇所
- 7. パブコメ
- 8. 新イライラ箇所
- 9. 新ハラハラ箇所
- 10. 今後の方針

- 長野県内における移動性・安全性の阻害箇所について、移動性阻害箇所52箇所(以降、イライラ箇所)・安全性要対策箇所50箇所(以降、ハラハラ箇所)を選定し、イライラ・ハラハラ箇所の解消に向けた取り組みを進めています。
- 最新のデータと新たな抽出基準に基づき、今年2月に新たなイライラ・ハラハラ候補箇所を提示、県民のご意見を頂きました。



1. 概要

<プランPDCA>

1-3. 「PDCAサイクル」について

1. 概要

委員会の経緯

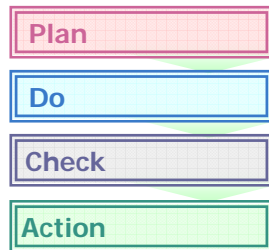
第1～6回の内容

PDCAサイクル

- 対策完了箇所における「改善効果の確認」、「追加対策」や「新規箇所の追加」を検討しながらPDCAサイクルを進めます。
- 対策効果が得られなかった箇所を対象に、「追加対策」について随時検討を行います。
- 「新たな箇所の抽出」に関して、箇所抽出のための“新たな指標”や“新たな基準”についても随時検討していきます。

PDCAサイクルの進め方

【Action(反映)の概要】



対策完了箇所が多数となったことから、新たに抽出が必要な箇所の検討を行う。
新たな指標や基準を検討した上で、「新たな箇所の抽出」を検討する
抽出の考え方や、具体的な候補箇所について、**パブリックコメントを実施**する。
認知度が向上するような積極的な周知活動を行う。

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

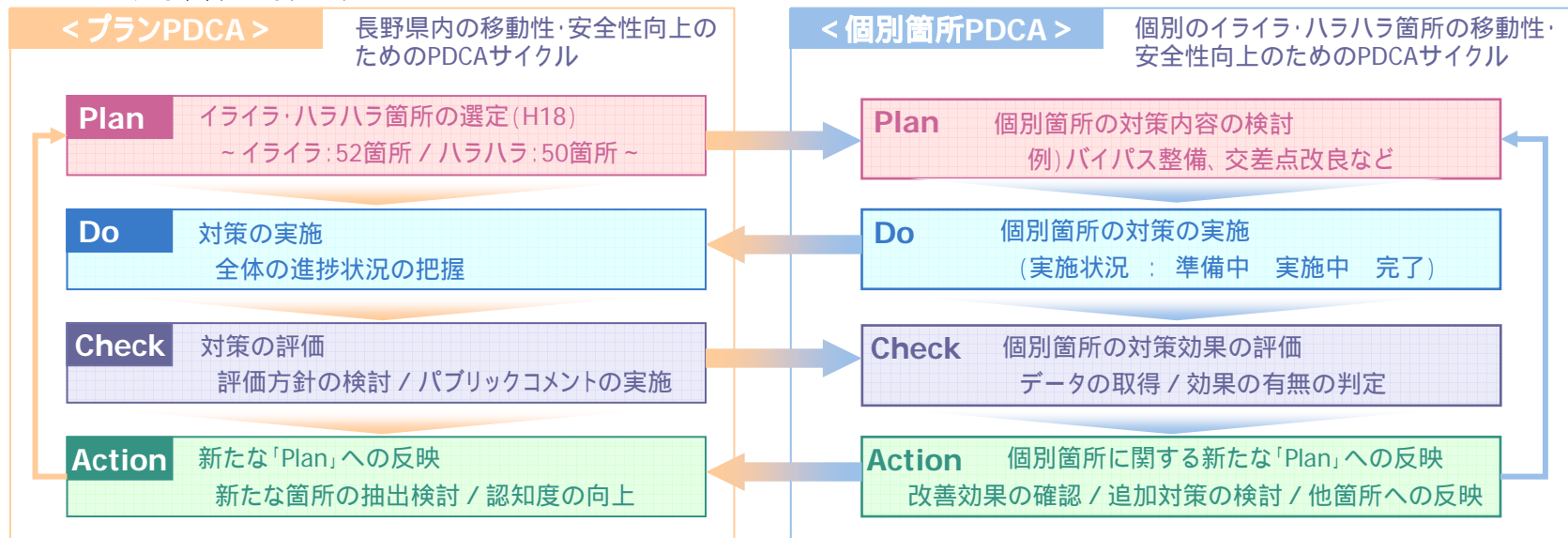
7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

<PDCAサイクルのイメージ>



2. 長野県の道路現況について

2-1. 長野県の地域特性

1. 概要

2. 道路現況

長野県地域特性

長野県道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パプコメ

8. 新イライラ箇所

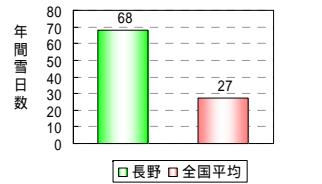
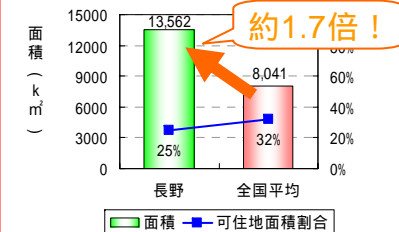
9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

- 長野県は県土が広く、山に囲まれた地域です。地域間で人口密度や高齢化の状況に大きな差があります。
- 産業は農業、観光業が盛んであり、首都圏など他地域への出荷、県外からの来訪客のため、道路が担う役割は重要です。

地理・地形・国土

- ・県土は南北に長く、面積は全国第4位、全国平均の約1.7倍です。
- ・H21年の年間雪日数は約68日で、全国で6番目に雪日数が多い県土です。

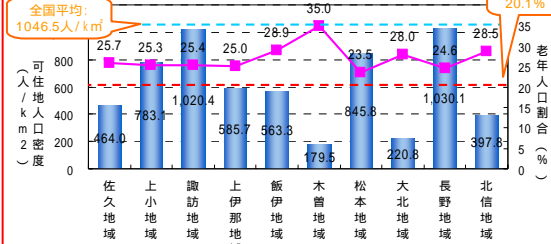


図：県内の面積と全国平均の比較
【出典：平成21年度版全国市町要覧、市町村自治研究会】

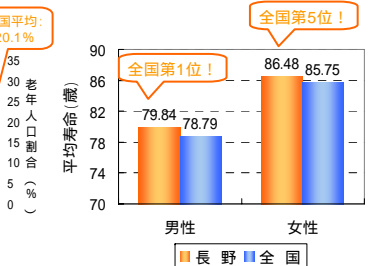
図：県内の年間雪日数と全国平均の比較
【出典：気象統計情報（気象庁）H21】

人

- ・地域別の人口密度、老年人口割合は地域差が大きくなっており、長野、松本地域といった都市部に人口が集中している一方で、木曽、大北地域では、高齢化が進んでいます。
- ・長野県は平均寿命が高く、男性が全国第1位、女性が全国第5位と全国でも有数の長寿地域となっています。



図：地域別の人口密度と老年人口割合の比較
【出典：毎月人口異動調査（H21.10.1）】

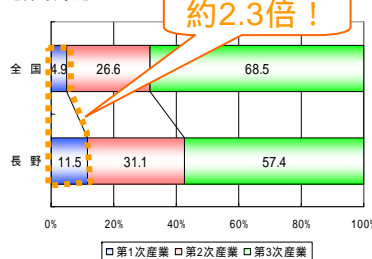


図：県内の平均寿命と全国平均の比較
【出典：平成17年度府県別生命表（厚生労働省）】

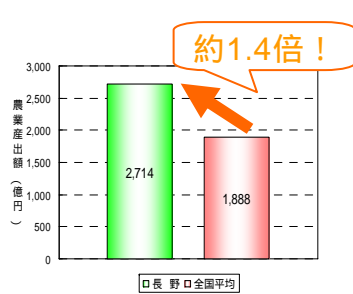
産業

- ・第1次産業割合が全国平均の約2倍、農業産出額は2,714億円（全国11位）と農業が盛んで、野菜、果物等が首都圏中心に出荷されています。
- ・景勝地、温泉、スキー場、史跡等、多種多様な観光資源が豊富で、ホテル旅館客室数も全国平均の約2倍で全国第5位となっています。年間の延観光客数は約9140万人で、県外から多くの人々が訪れており、交流人口の拡大、地域活性化の面から観光産業は重要な産業となっています。

【農業】

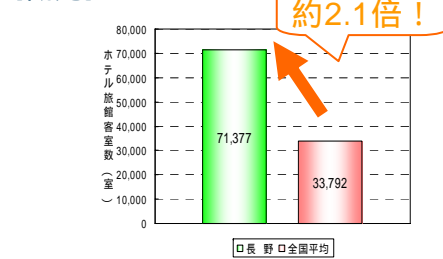


図：県内の産業構造と全国平均の比較
【出典：国勢調査（平成17年）、総務省】

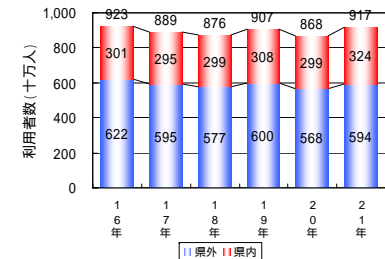


図：県内の農業産出額と全国平均の比較
【出典：衛生行政業務報告（平成21年）、厚生労働省】

【観光】



図：県内のホテル旅館客室数と全国平均の比較
【出典：衛生行政業務報告（平成21年）、厚生労働省】



図：県内・県外別の延観光客数
【出典：平成21年度観光地利用者統計調査結果（長野県観光部観光企画課）】

2. 長野県の道路現況について

2-1. 長野県の地域特性

1. 概要

- 全国平均に比べ病院が少ないことから、事故・急病や出産に対するリスクが高いという課題を抱えています。
- また、医療施設の多くが市街地に立地しており、山間地域からの搬送ルートの確保が求められています。

2. 道路現況

長野県地域特性

長野県道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パプコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

高齢者

- ・長野県は就業率が高く、特に高齢者就業率(高齢者のうち働いている人の割合)が高くなっており、全国平均の約1.4倍で、全国第1位です。
- ・県内の1人あたりの老人医療費が全国で最も低いことから、高齢者が活発に社会参加していることが想定されます。

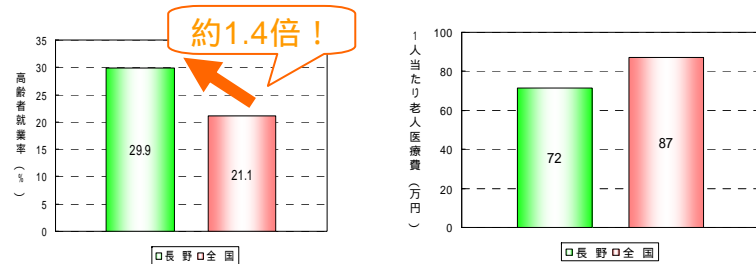


図: 県内の高齢者就業率と全国平均の比較
【出典: 国勢調査(平成17年)、総務省】

図: 県内の1人あたりの老人医療費
【出典: 老人医療事業年報(平成19年)、厚生労働省】

医療

- ・県内の人口10万人あたりの病院数は全国平均よりも少なくなっています。
- ・また、県内の妊産婦死亡率は妊産婦死亡率が高く、平成17年度には全国の約2倍となっており、出産のリスクへの早急な対策が必要です。

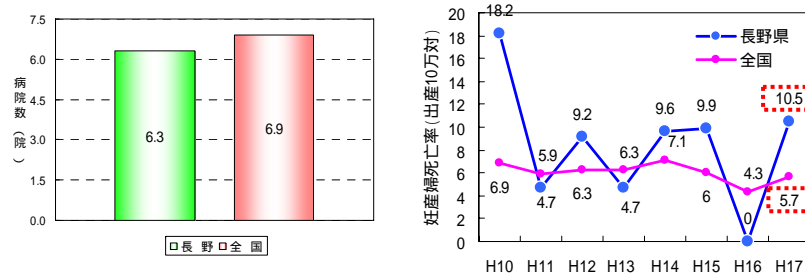


図: 県内の病院数と全国平均の比較
【出典: 厚生労働省統計データ】

図: 県内の妊産婦死亡率
【出典: 長野県HP】

救急

- ・医療施設の多くは市街地周辺の主要な道路沿道に立地しています。一方で、山間部には高度医療施設があまり配置されていないため、緊急時の対応が課題となります。



2. 長野県の道路現況について

2-2. 長野県の道路現況

1. 概要

▶ 長野県は他県に比べ自動車への依存度が高い状況ですが、走りづらい道路が多く、また観光地周辺を中心とした交通渋滞の発生に対して不満をもつ県民が多いことなどから、多様な人に配慮した移動性の向上が期待されています。

2. 道路現況

長野県地域特性

長野県道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

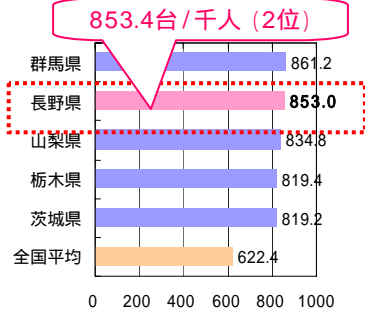
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

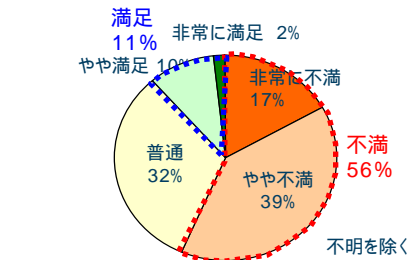
10. 今後の方針

自動車への依存度が高い

- ・人口当たりの自動車保有台数(H20年度末)は、全国2位であり、自動車への依存度が極めて高くなっています。
- ・積雪寒冷地であり、県内の『冬期の走行』に不満を感じている県民は56%と、冬期走行の安全性の向上が期待されています。



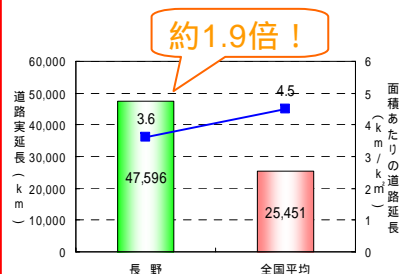
図：人口千人当たりの自動車保有台数
【出典：自動車検査登録情報協会資料、国勢調査結果】



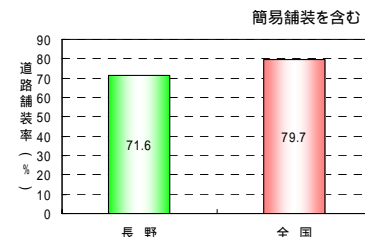
図：冬期の走行(除雪状況・スリップ)の満足度
【出典：平成20年度県政世論調査】

道路状況

- ・道路実延長は全国第4位で、全国平均の約2倍となっています。
- ・その一方で、道路舗装率は71.8%(全国37位)で全国平均の79.7%を下回っており、走りにくい道路が多いことがわかります。



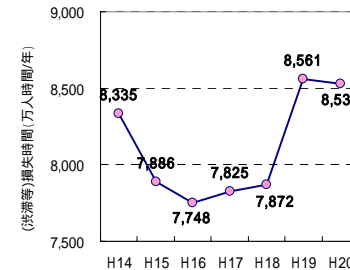
図：県内の道路実延長と全国平均の比較
【出典：道路統計年報(平成20年)、国土交通省】



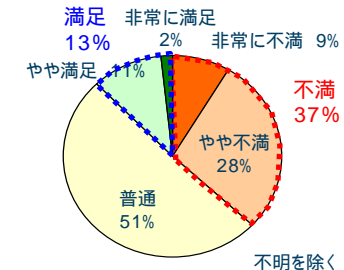
図：県内の道路舗装率と全国平均の比較
【出典：道路統計年報(平成20年)、国土交通省】

交通渋滞

- ・県内の(渋滞等による)損失時間は、近年増加傾向にあり、平成20年度で年間8,531万人時間/年に達しています。
- ・県内の『車の流れ』に不満を感じている県民は37%おり、渋滞の解消が期待されています。



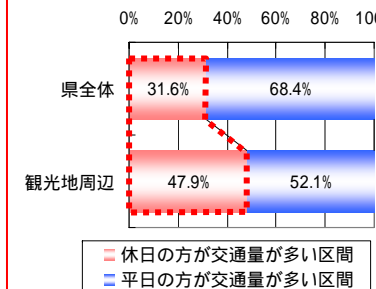
図：県内の(渋滞等)損失時間の推移
【出典：国土交通省資料】



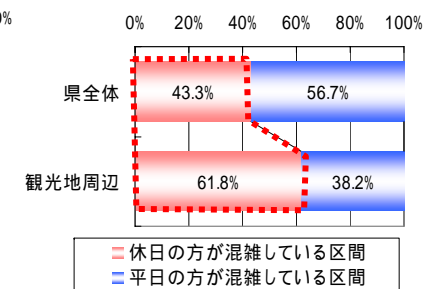
図：車の流れ(渋滞状況等)の満足度
【出典：平成20年度県政世論調査】

観光地周辺の交通状況

- ・長野県全体の道路と観光地周辺の道路の交通状況を比べると、観光地周辺の道路で休日の方が交通量が多く、さらに旅行速度も低下していることから、この点に留意した対策が求められています。



図：平日・休日の交通量の比較
【出典：H17交通センサス】



図：H21年度平日・休日の旅行速度の比較
【出典：国土交通省】

2. 長野県の道路現況について

2-2. 長野県の道路現況

1. 概要

➢ 平成20年度から平成21年度にかけて、高速道路の休日割引(H21.3.28~)、善光寺の御開帳(H21.4~5月)等がありましたが、主要国道の自動車交通量は多少減少傾向にも見えますが、大きな変化はありません。

2. 道路現況

長野県地域特性

長野県道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

近年の道路交通量の推移(常時観測データ)

- ・主要国道のH21年度の自動車交通量は、H20年度と比較して約97~102%となっています。高速道路の休日割引(H21.3.28~)の影響も考えられますが、大きな影響を与えるにはいたっていません。
- ・都市部の交通量は季節変動が少なく、観光地(軽井沢、諏訪湖)では大きくなっています。長野市内の国道18号は善光寺御開帳も主要国道の交通量への影響はあまり出ていません。



図: 主な交通量常時観測箇所(長野国道管内)

表: 日平均交通量の変化

	国道18号 長野市西和田	国道19号 松本市出川町	国道18号 軽井沢町追分	国道20号 下諏訪町富部
H20年度	12,615	11,438	12,695	7,174
H21年度	12,278	11,265	12,409	7,286
H21/H20	97.3%	98.5%	97.7%	101.6%

[出典: 長野国道事務所]

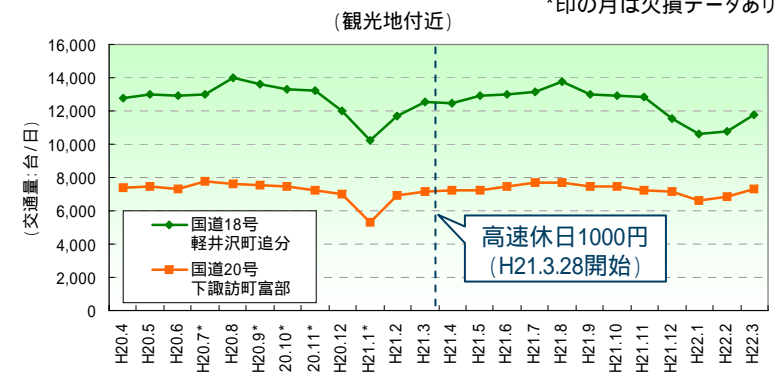
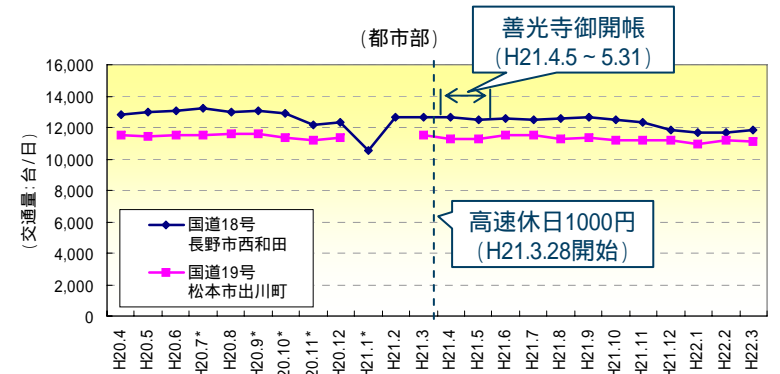


図: 日平均道路交通量の推移

[出典: 長野国道事務所]

2. 長野県の道路現況について

2-2. 長野県の道路現況

1. 概要

2. 道路現況

長野県地域特性

長野県道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

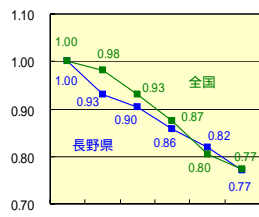
9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

➤ 長野県の事故発生状況をみると、死傷事故では追突事故、死亡事故では自転車・歩行者事故、及び正面衝突・車両単独といった車線逸脱事故、高齢者の事故、夜間事故が目立っています。

死傷事故・死亡事故の推移

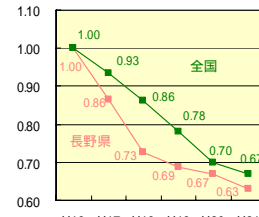
- ・死傷事故件数をみると、平成16年以降は減少傾向であり、平成19年以降の減少伸び率は全国値とほぼ同等です。
- ・死者数をみると、死傷事故件数と同じく減少傾向であり、減少率も全国値と比較して高いが、平成19年以降は減少伸び率が低くなっています。



H16の死傷事故件数を1.0とする

図：死傷事故件数の全国値との比較

【出典：交通事故統計年報】



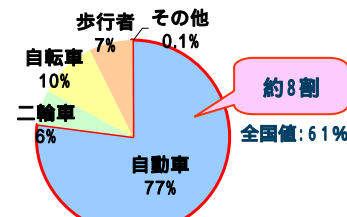
H16の死者数を1.0とする

図：死者数の全国値との比較

【出典：交通事故統計年報】

当事者種別死傷者数及び死者数

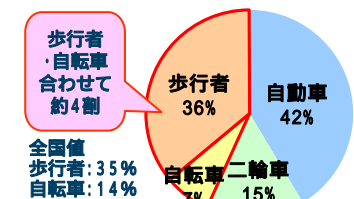
- ・死傷者数をみると、自動車の割合が約8割を占め、全体値と比べて発生割合が高くなっています。
- ・死者数をみると、歩行者と自転車が約4割を占め、歩行者については、全国値と比べて発生割合が高くなっています。



長野県 (N=14,256, H21)

図：死傷者数

【出典：交通事故統計年報】



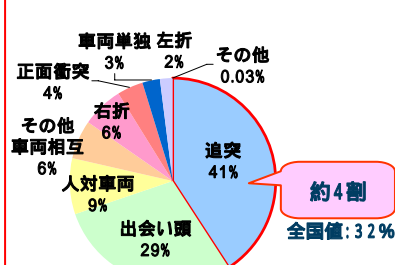
長野県 (N=111, H21)

図：死者数

【出典：交通事故統計年報】

事故類型別死傷事故件数及び死亡事故件数

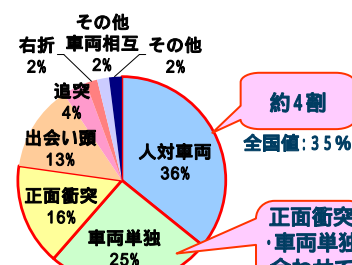
- ・死傷事故をみると、追突事故が4割を占め、全国値と比べて発生割合が高くなっています。
- ・死亡事故をみると、人対車両が約4割、正面衝突・車両単独といった車線逸脱事故が約4割を占め、全国値と比べて発生割合が高くなっています。



長野県 (N=11,171, H21)

図：死傷事故件数

【出典：交通事故統計年報】



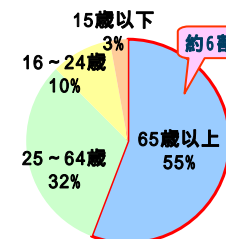
長野県 (N=106, H21)

図：死亡事故件数

【出典：交通事故統計年報】

年齢別死傷者数及び死者数

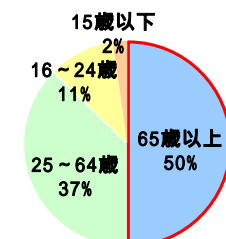
- ・死者数をみると、65歳以上が全体の約6割を占め、全国値と比べて発生割合が高くなっています。



長野県 (N=111, H21)

図：死者数 (長野県)

【出典：交通事故統計年報】



全国 (N=4,914, H21)

図：死者数 (全国)

【出典：交通事故統計年報】

3 . 道路環境整備に関する新たな取り組み

3 - 1 . 交通安全緊急対策

1. 概要

- 長野県内の幹線道路では昨年を上回る交通死亡事故、特に高齢者の死亡事故が発生しており、緊急対策が必要です。
- 12/11から始まった「年末交通安全運動」においても、高齢者の交通事故防止が重点運動の一つになっています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パプコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

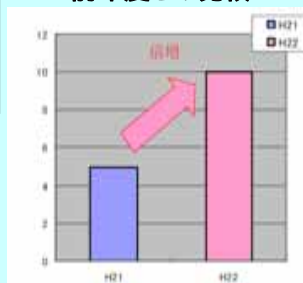
10. 今後の方針

長野国道事務所における取り組み

長野国道事務所では、管理する国道18号をはじめ、19号(塩尻市高出交差点以北)、20号において、**平成22年8月31日現在で10件の死亡事故が発生し、管内全域で死亡事故が多発**している状況。

長野国道事務所では、「**長野国道交通安全緊急対策チーム**」を7月に発足させて、各地区で発生した死亡事故等の箇所を中心に、地元関係者や関係機関と対策内容の意見交換を実施し、**11月から順次工事に着手**。

死亡事故件数の前年度との比較



各年の1月～8月実績

年末交通安全運動の取組



【出典：長野県警HP】

交通安全緊急対策内容(一例)

1. 追突事故や速度抑制対策

- 路面標示「ドットマーク、追突注意」
- 法定外看板「追突注意」
- カラー舗装



標準

LED式

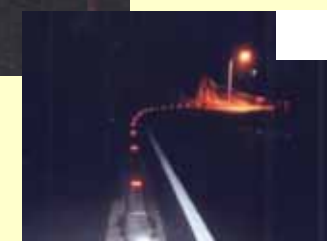
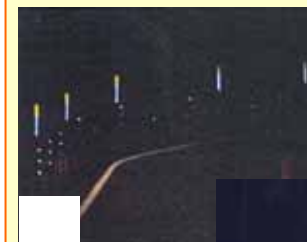
2. 歩行者や自転車事故などの対策

- 法定外看板、横断防止柵
- 注意喚起路面標示
- 取付部のカラー舗装



3. 道路線形の明示

- 視線誘導標
- 自発光式道路釘



【出典：長野国道事務所】

3. 道路環境整備に関する新たな取り組み

3-2. 低炭素都市づくり

1. 概要

➤ 『低炭素都市づくりガイドライン』が今年8月に策定され、交通部門では都市、交通の視点で各種施策メニューが示されており、渋滞対策、安全対策は走行速度改善に寄与する取り組みとして重要です。また「長野県地球温暖化防止県民計画」においても同様に温室効果ガスの削減の取り組みが求められています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-Up

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

低炭素都市づくりに向けた全国的な動向

地球温暖化と都市活動の現状

わが国における総CO2排出量のうち、都市における社会経済活動に起因する業務部門と、運輸部門における排出量が全体の約5割を占めています。**運輸部門は全体の2割**を占めています。

低炭素都市づくりの必要性

都市レベルで低炭素化を進めることの必要性については、京都議定書目標達成計画をはじめ、**関連する各計画等において対策の方向性が位置づけ**られています。

低炭素都市づくりガイドラインの策定(平成22年8月)

低炭素都市づくりを検討する自治体での活用を想定し、低炭素都市づくりに関する考え方と対策の効果分析方法を示したガイドラインが策定されました。

現在審議中ですが、交通基本法の制定と関連施策の基本的な考え方(案)として、「交通体系、まちづくり及び乗り物の三位一体の低炭素化の推進」が謳われています。

低炭素都市形成に向けた交通部門の施策メニュー

メニュー1 集約型都市構造への転換

メニュー2 道路整備(走行速度改善)

- 自動車交通円滑化のための道路整備
- 交差点の立体化
- ボトルネック踏切等の対策
- 高度道路交通システム(ITS)の推進

メニュー3 自動車交通需要の調整(交通需要マネジメント)

メニュー4 公共交通の整備

メニュー5 公共交通機関の利用促進

長野県では、「長野県地球温暖化防止県民計画」の中で、運輸部門の地球温暖化対策として“交通渋滞の緩和”を掲げており、体系的な道路ネットワークの整備を進めています。

渋滞対策

イライラ箇所の対策

安全対策

ハラハラ箇所の対策

参考: 二酸化炭素排出量の内訳

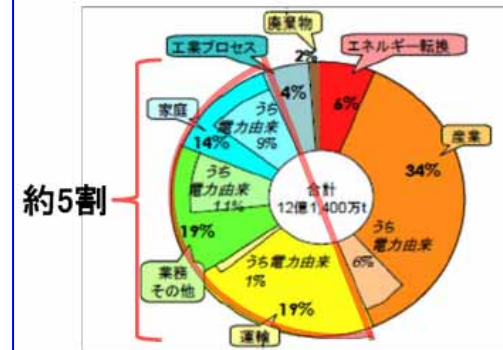


図: 二酸化炭素排出量の内訳 (2008年度)
[出典: 2008年度温室効果ガス排出量(確定値)(環境省)]

参考: 渋滞対策に伴う速度向上による二酸化炭素の削減量

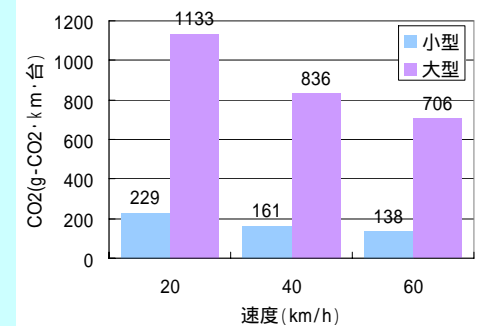


図: 速度変化に伴うCO2の排出原単位の変化
[出典: 客観的評価指標の定量的評価指標の算出方法について]

3 . 道路環境整備に関する新たな取り組み

3 - 3 . 公共事業の評価

1. 概要

➤ 公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、平成13年7月の「国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領」等の策定以来、順次、公共事業評価の実施要領が改訂されています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

【事業評価の目的】

公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図る

【事業評価の位置付け】

政策評価法(平成14年4月1日施行)における政策評価制度の一環
 全ての公共事業について各事業毎の事業評価マニュアル等に基づき事業評価を実施
 (維持・管理、災害復旧に係る事業等を除く)

新規事業採択時評価
 再評価(平成10年度～)
 事後評価(平成15年度～)

【評価結果の積極的な公表】

・平成12年度(試行)より評価結果はインターネット等で公表
 ・平成16年度より各事業評価の一連の経緯が一目で分かるよう、費用便益分析などのバックデータを含め、事業評価カルテとして一括整理、インターネットで公表

< 事業評価の新たな取り組み >

都道府県・政令市への意見聴取の導入

直轄事業等の新規事業採択時評価及び再評価について、地方負担の負担者である 都道府県等からの意見を聴く。

[(新規事業採択時評価)H21.12.24実施要領改定]

[(再評価)H22.4.1実施要領改定]

第三者による事前審査の充実

直轄事業等の新規事業採択時評価について、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴く。事業評価監視委員会等の資料を検証可能なものに改善する。[H21.12.24実施要領改定]

国会審議へ資するための取り組み

直轄事業等については、1月末までを目途に新規事業採択時評価および再評価を実施し、評価結果を公表する。[H21.12.24実施要領改定]

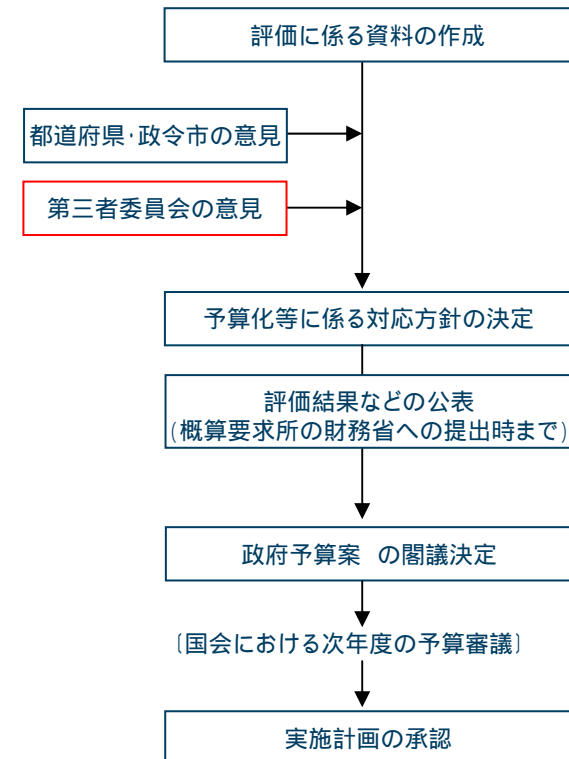
再評価実施時期の短縮

事業化後、10年継続で1回目の再評価となっている規定を5年継続に短縮にするほか、直轄事業等に関する実施サイクルを5年から3年に短縮する。[H22.4.1実施要領改定]

	従前	改定(H22.4.1)
公共事業	<直轄事業等、補助事業等> 5年未着工・10年継続・5年毎	<直轄事業等> 3年未着工・5年継続・3年毎 <補助事業等> 5年未着工・5年継続・5年毎
その他施設費	3年未着工・7年継続・3年毎	3年未着工・5年継続・3年毎

【新規事業採択時評価の実施フロー(直轄事業)】

< 政府予算案の閣議決定時に、個別箇所予算措置を公表する事業 >



3 . 道路環境整備に関する新たな取り組み

3 - 3 . 公共事業の評価（政策目標評価型事業評価の導入）

1. 概要

➤ さらなる公共事業の実施過程の透明性を一層向上させるため、事業の必要性等が検証可能となるような評価手法改善とともに、計画段階での事業評価を含む「政策目標評価型事業評価」が導入されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

1. 政策目標評価型事業評価の導入

政策目標評価型事業評価として、以下の取り組みを実施する。

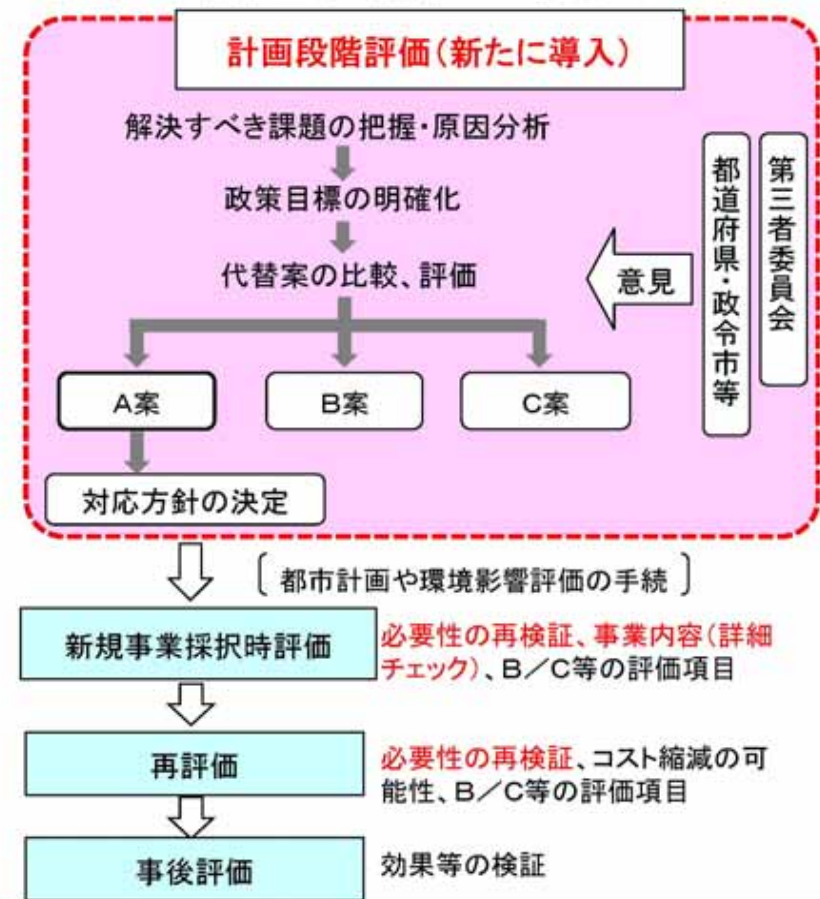
①事業の必要性や内容が検証可能となるよう 評価の手法を改善

- 事業目的となる解決すべき課題・背景の把握、原因分析
- 政策目標の明確化
- 政策目標に応じて評価項目を設定し、代替案を提示した上で、具体的データやコスト等から比較、評価

②計画段階の事業評価を導入

- 代替案の比較評価を行う計画段階における事業評価を実施

【政策目標評価型事業評価の一般的な流れ】



3 . 道路環境整備に関する新たな取り組み

3 - 3 . 公共事業の評価（道路事業における政策目標評価型事業評価）

1. 概要

➤ 道路事業では、透明性・効率性を高めるため、バイパス・拡幅事業等に計画段階評価を導入するとともに、局所的な事業に対し、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取り組みが導入されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

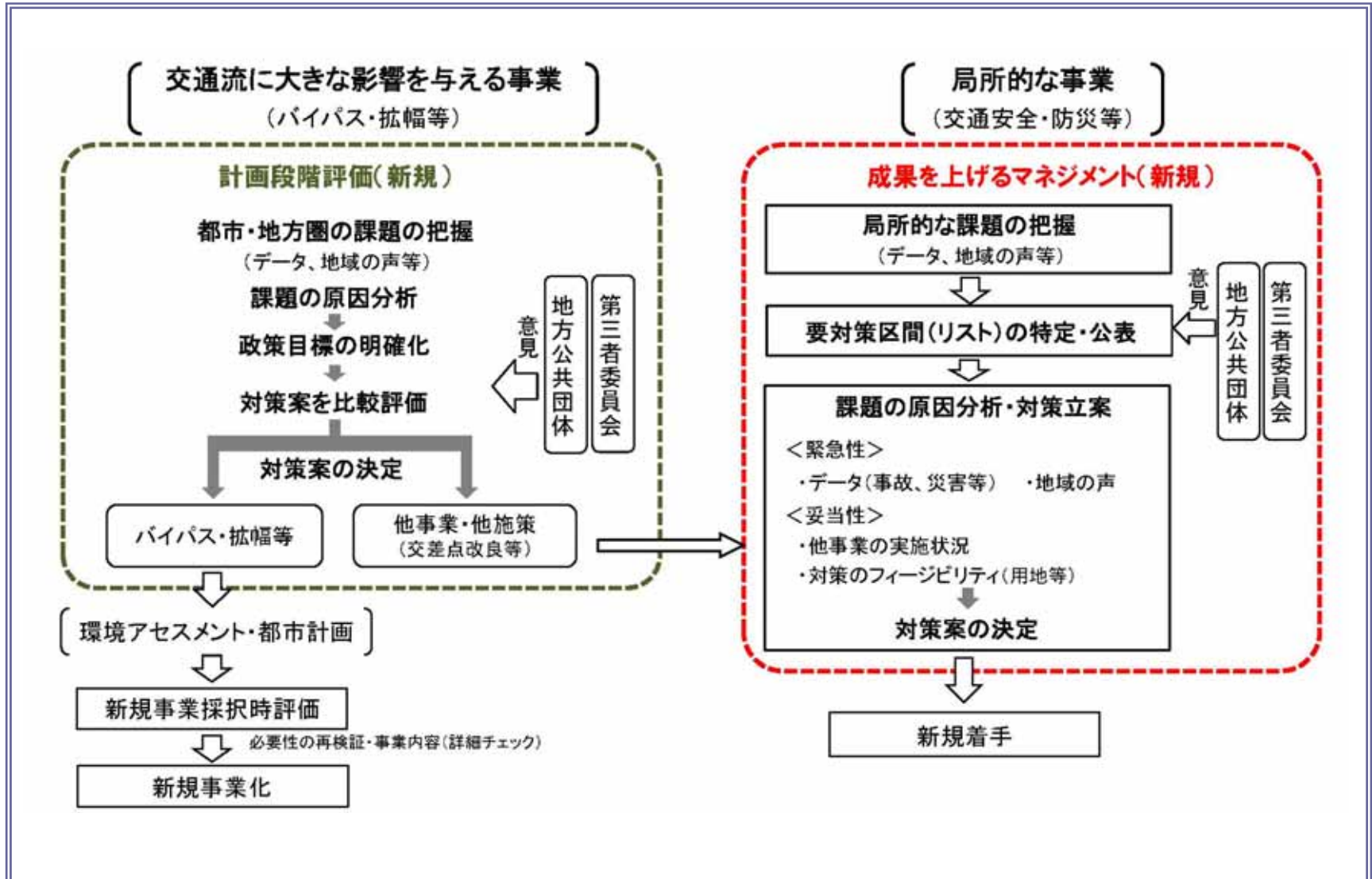
6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針



3 . 道路環境整備に関する新たな取り組み

3 - 3 . 公共事業の評価（交通安全分野の政策目標評価型事業評価「成果を上げるマネジメント」）

1. 概要

➤ 交通安全分野では、限られた予算の中、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、「成果を上げるマネジメント」が導入されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

交通安全緊急対策

低炭素都市づくり

政策目標評価型

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

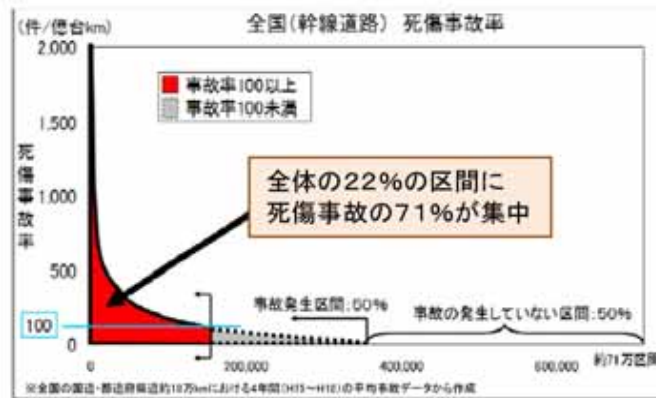
7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

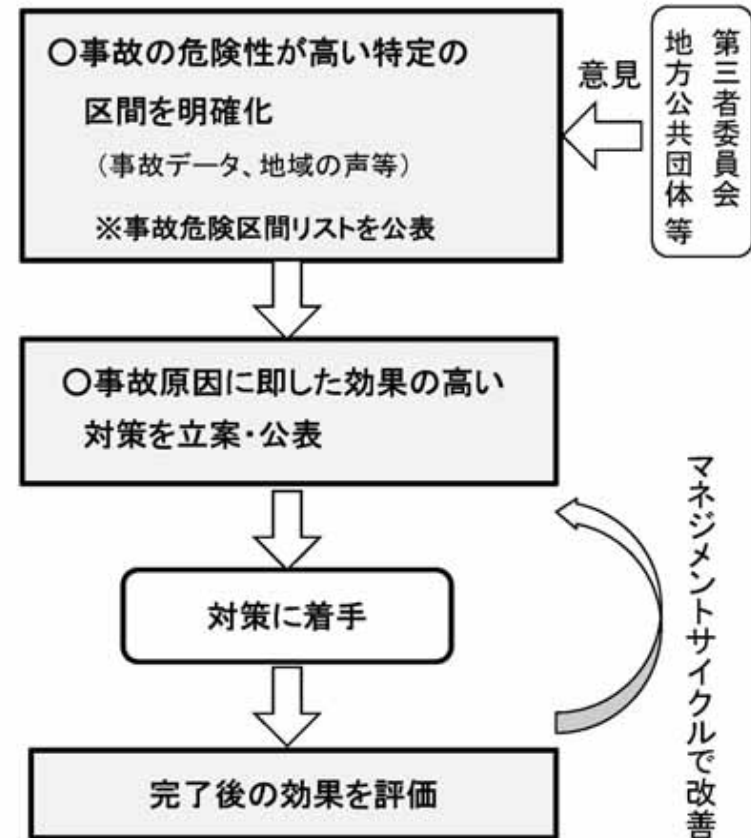
【交通事故の発生は特定の箇所に集中】



【事故要因に即した対策の立案(イメージ)】



【「成果を上げるマネジメント」の流れ】

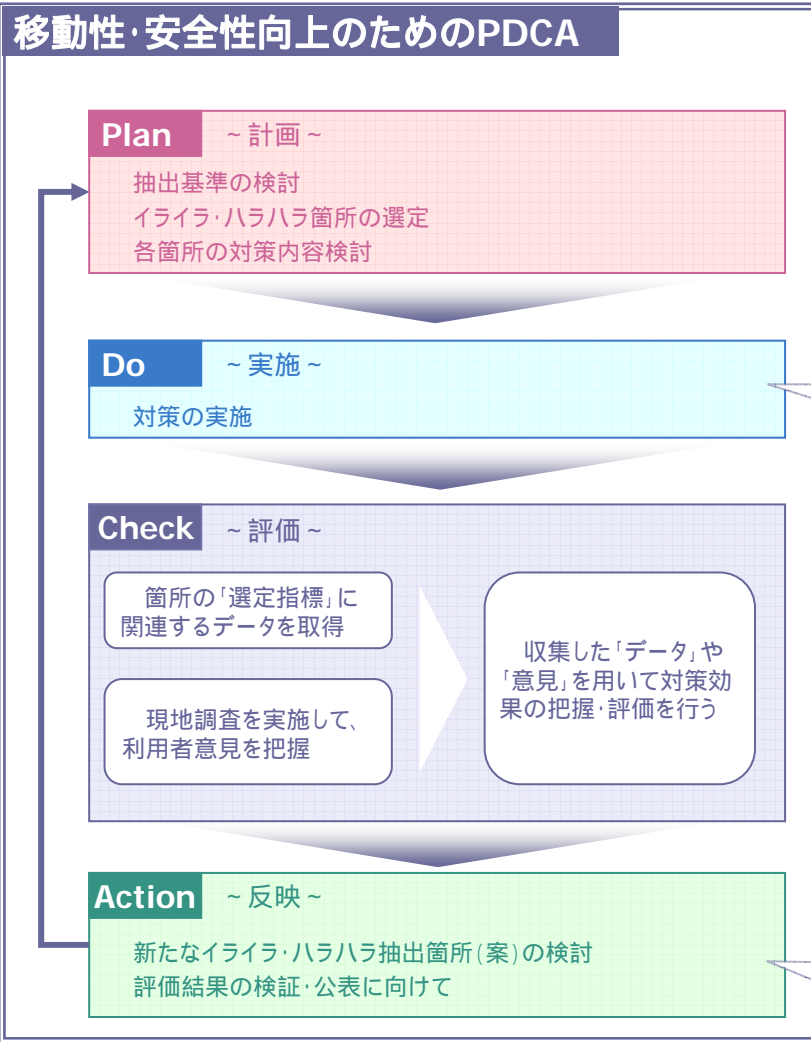


4 . 第7回委員会の位置付け

< プランPDCA >

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 新たな箇所
- 7. パブコメ
- 8. 新イライラ箇所
- 9. 新ハラハラ箇所
- 10. 今後の方針

➢ 第7回委員会では、PDCAサイクルにおける「Do(評価)」、「Action(反映)」の検討が主な内容になります。
➢ 具体的には、「Do(実施)」の既選定のイライラ・ハラハラ箇所の進捗状況の確認を行うとともに、パブリックコメントの結果を踏まえた新たなイライラ・ハラハラ抽出箇所(案)について検討いただきます。



~ 第7回委員会の検討項目 ~

イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況確認

パブリックコメントの結果報告
パブリックコメントの結果を踏まえた、新たなイライラ・ハラハラ抽出箇所(案)について

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-1. イライラ箇所の進捗状況

1. 概要

- イライラ箇所(52箇所)のうち、平成22年11月末までに14箇所に対策事業が完了しております。
- 未対策・対策継続箇所についても、引き続き、対策内容の検討や対策実施を進めています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

イライラ箇所の進捗状況(平成22年11月末)

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針



No.	路線名	場所	抽出要因	Plan	Do	Check	Action	(参考) 対策事業(想定含む)
				検討中	計画済	準備中	実施中	
1	一般国道18号	上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り	渋滞					上田坂城バイパス
2	一般国道18号	上田市大屋付近	渋滞					上田バイパス
3	一般国道18号	千曲市戸倉～粟佐	渋滞					坂城更直バイパス
4	一般国道18号	長野市上千田～柳原北	渋滞					長野東バイパス
5	一般国道19号	長野市中御所～居町	渋滞					検討中
6	一般国道19号	松本市芳野～白坂	渋滞					松本拡幅
7	一般国道19号	塩尻市吉田北～松本市平田	渋滞					塩尻北拡幅
8	一般国道20号	茅野市宮川～中河原北	渋滞					坂室バイパス
9	一般国道20号	諏訪市四貫～赤羽根踏切付近	渋滞					検討中
10	一般国道20号	諏訪市元町～湖岸通り2丁目	渋滞/災害・気象					検討中
11	一般国道20号	下諏訪町富部～岡谷市長地	渋滞					下諏訪岡谷バイパス
12	一般国道20号	岡谷市岡谷インター	渋滞					岡谷塩尻改良
13	一般国道141号	佐久市跡部付近	渋滞					臼田～野沢バイパス
14	一般国道144号	上田市下原付近	渋滞					上野バイパス
15	一般国道147号	松本市新橋	渋滞					高家バイパス
16	一般国道152号	上田市大屋駅前	渋滞					大屋
17	一般国道153号	飯田市インター付近	渋滞					検討中
18	一般国道153号	駒ヶ根市小町屋南部	渋滞					伊南バイパス
19	一般国道158号	松本市渚1丁目付近	渋滞					松本拡幅
20	一般国道403号	須坂市幸高～須坂インター	渋滞					幸高～井上拡幅
21	一般国道403号	長野市長野インター南付近	渋滞					松代
22	一般国道406号	須坂市村山町	渋滞					村山橋
23	一般国道406号	須坂市須坂駅南	渋滞					検討中
24	(主)長野真田線	長野市下水鉤南付近	渋滞					小田島
25	(主)長野上田線	上田市三好町	渋滞					三好町
26	(主)諏訪辰野線	諏訪市渋峠	渋滞					小和田
27	(主)豊科インター～堀金線	安曇野市豊科田沢	渋滞					高家バイパス
28	(一)平田新橋線	松本市深志2丁目	渋滞					本町～栄町
29	(一)丸川寺鎌田線	松本市鎌田	渋滞					鎌田～中奈
30	(一)三才大豆島中御所線	長野市荒木	渋滞					若里
31	(一)稲荷山停車場線	長野市稲荷山駅付近	渋滞					稲崎
32	(一)私沢茅野線	茅野市茅野市街	渋滞					永明
33	一般国道18号	信濃町内	積雪					野尻バイパス
34	一般国道117号	飯山市中央橋西～新潟県境	積雪					窪作～明石
35	一般国道148号	白馬村神城～新潟県境	積雪/線形不良・交通不能					小谷道路、通、沢渡、白馬駅前
36	(主)飯山野沢温泉線	飯山市蛭川橋～横落	積雪					宇那子
37	一般国道19号	上松町上松	災害・気象					検討中
38	一般国道19号	塩尻市奈良井～豊川	災害・気象					検討中
39	一般国道19号	生坂村内	災害・気象					検討中
40	一般国道19号	長野市～長野市笹平トンネル西	災害・気象					経路観察 防災(山清路防災)
41	一般国道20号	下諏訪町藤ノ木～富部	災害・気象					防災安庭災害復旧事業
42	一般国道20号	塩尻市塩尻峠付近	災害・気象					検討中
43	一般国道158号	松本市中ノ湯～波田町新島ヶ谷駅付近	災害・気象/線形不良・交通不能					下諏訪岡谷バイパス
44	一般国道361号	木曾町神谷	災害・気象/線形不良・交通不能					うすゆき橋バイパス 姥神峠道路(延伸)
45	(主)岡谷茅野線	岡谷市湊	災害・気象					経路観察 R3丁目、湊2丁目、湊花岡(災害関連緊急砂防事業)
46	(一)八島高原線	下諏訪町東俣	災害・気象					経路観察 災害復旧事業
47	(一)白雲温泉線	松本市安曇沢渡付近	災害・気象					白雲
48	(一)白石千曲線	千曲市横町付近	災害・気象					経路観察 防災事業
49	一般国道141号	山梨県境～佐久穂町清水町	線形不良・交通不能					市場坂
50	一般国道148号	大町市木崎～青木湖付近	線形不良・交通不能					梅ノ口
51	一般国道152号	飯田市南信濃青崩峠付近	線形不良・交通不能					検討中
52	一般国道256号	飯田市上村付近	線形不良・交通不能					検討中

注)色の濃い箇所がH22.3～H22.11末にかけての進捗

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-2. ハラハラ箇所の進捗状況

1. 概要

- ハラハラ箇所(50箇所)のうち、平成22年11月末までに35箇所に対策事業が完了しています。
- 未対策・対策継続箇所についても、引き続き、対策内容の検討や対策実施を進めています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

ハラハラ箇所の進捗状況(平成22年11月末)

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

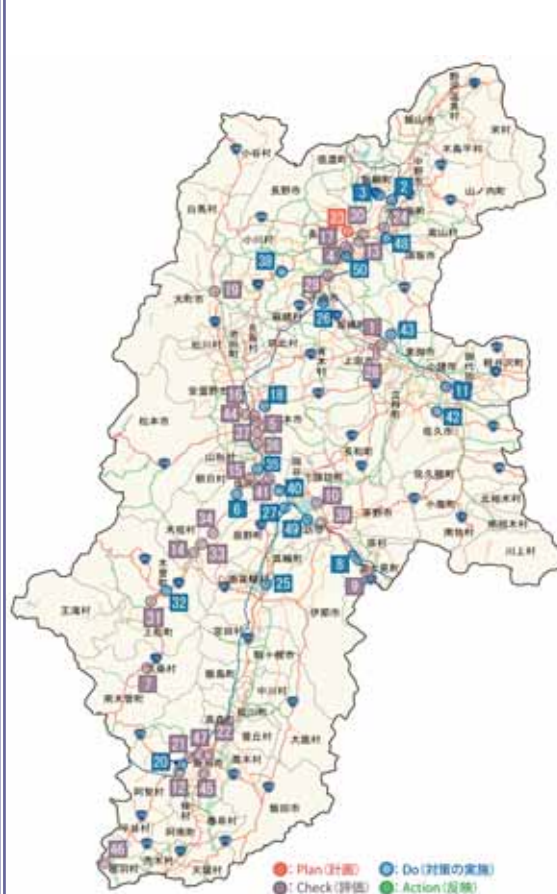
6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針



No.	路線名	場所	抽出要因	Plan	Do	Check	Action	(参考) 対策事業(想定含む)
				検討中	計画済	準備中	実施中	
1	一般国道18号	上田市住吉	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
2	一般国道18号	長野市浅野	死傷事故率比					交通安全対策
3	一般国道18号	飯綱町牟礼駅入口	死傷事故率比					牟礼駅入口交差点改良
4	一般国道19号	長野市下氷鉤南	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
5	一般国道19号	松本市井川城口	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
6	一般国道19号	塩尻市宗賀	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
7	一般国道19号	大桑村長野	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
8	一般国道20号	富士見町富士見付近	死傷事故率比					富士見歩道設置
9	一般国道20号	富士見町小手沢	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
10	一般国道20号	諏訪市諏訪1丁目付近	死傷事故率比				経過観察	上諏訪電線共同溝
11	一般国道141号	小諸市赤坂	死傷事故率比					交通安全対策
12	一般国道153号	飯田市東平	死傷事故率比				経過観察	交通安全対策
13	一般国道18号	長野市稲葉付近	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
14	一般国道19号	木祖村数原	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
15	一般国道19号	塩尻市宗賀	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
16	一般国道19号	松本市清1丁目	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
17	一般国道117号	長野市青木島町大塚	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	青木島拡幅
18	一般国道143号	松本市岡田付近	死傷事故率比/死傷事故件数					岡田拡幅
19	一般国道147号	大町市大町旭町	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	未対策(改善傾向箇所)
20	一般国道153号	飯田市中村	死傷事故率比/死傷事故件数					安全対策
21	一般国道153号	飯田市大瀬木-飯田インター入口	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
22	一般国道153号	飯田市鼎名古能	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
23	一般国道406号	長野市茂菅付近	死傷事故率比/死傷事故件数					検討中
24	一般国道406号	須坂市村山町大割	死傷事故率比/死傷事故件数				経過観察	対山橋
25	(主)伊那辰野停車場	伊那市上牧	死傷事故率比/死傷事故件数					伊那バイパス
26	(主)長野上田線	千曲市上山田町	死傷事故率比/死傷事故件数					二本木
27	(主)下諏訪辰野線	岡谷市川岸上1丁目-川岸保育園前	死傷事故率比/死傷事故件数					成田町岡谷川岸線
28	一般国道18号	上田市国分西-中央5丁目	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
29	一般国道18号	長野市南警察西	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
30	一般国道18号	長野市西尾張部	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
31	一般国道19号	木曾町福島	死傷事故件数				経過観察	事故危険箇所対策(伊谷交差点)
32	一般国道19号	木曾町日義	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
33	一般国道19号	木祖村数原	死傷事故件数				経過観察	事故危険箇所対策(数原北交差点)
34	一般国道19号	塩尻市警川	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
35	一般国道19号	塩尻市大門七区	死傷事故件数					交通安全対策
36	一般国道19号	松本市芳川村井付近	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
37	一般国道19号	松本市野溝	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
38	一般国道19号	信州新町新町付近	死傷事故件数					新町歩道設置
39	一般国道20号	諏訪市諏訪インター	死傷事故件数				経過観察	諏訪IC交差点改良
40	一般国道20号	岡谷市今井付近	死傷事故件数					国道20号下諏訪岡谷バイパス
41	一般国道20号	塩尻市榎谷付近	死傷事故件数				経過観察	小坂田公園交差点改良
42	一般国道142号	佐久市跡部付近	死傷事故件数					佐久南拡幅
43	一般国道144号	上田市本原付近	死傷事故件数					上野バイパス
44	一般国道147号	松本市島内	死傷事故件数				経過観察	高家バイパス
45	一般国道151号	飯田市川路田中	死傷事故件数				経過観察	未対策(改善傾向箇所)
46	一般国道153号	根羽村下町	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
47	一般国道153号	飯田市上殿岡	死傷事故件数				経過観察	交通安全対策
48	一般国道403号	須坂市井上町幸高	死傷事故件数					幸高-井上拡幅
49	(主)岡谷茅野線	諏訪市大熊	死傷事故件数					胡南
50	(主)長野真田線	長野市下氷鉤付近	死傷事故件数					小島田

注)色の濃い箇所がH22.3~H22.11末にかけての進捗

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-3. イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況のとりまとめ

1. 概要

- イライラ箇所は、14箇所対策完了し、そのうち12箇所が評価(調査中)段階となっています。
- ハラハラ箇所は、35箇所対策完了し、そのうち30箇所が評価(調査中)段階となっています。
- 対策完了箇所については、順次、『CHECK』を進めていきます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 新たな箇所

7. パブコメ

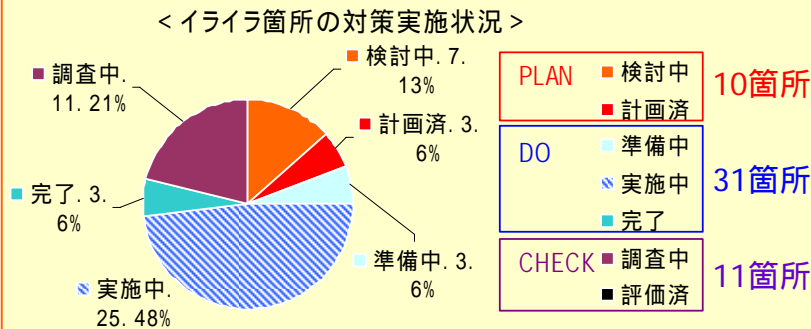
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

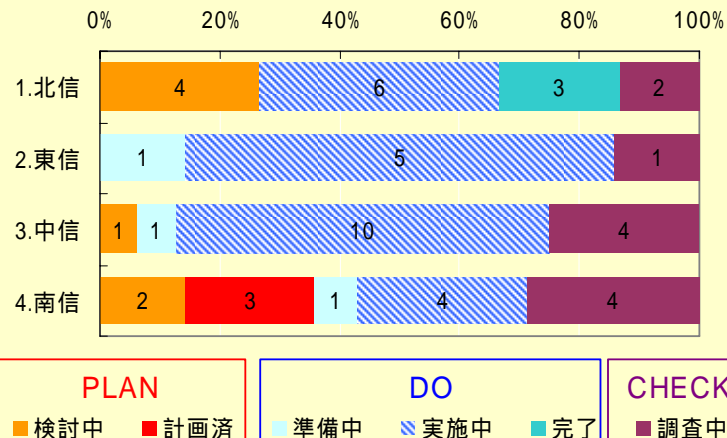
10. 今後の方針

イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況

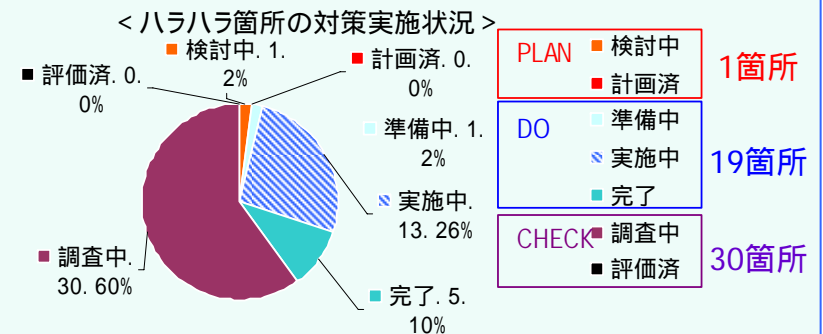
イライラ箇所(52箇所)の進捗状況



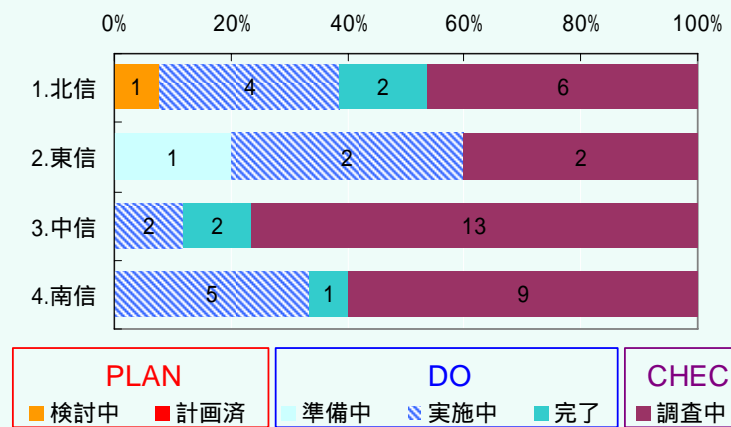
< イライラ箇所 地域別の進捗状況 >



ハラハラ箇所(50箇所)の進捗状況



< ハラハラ箇所 地域別の進捗状況 >



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-4. イライラ箇所の評価指標推移

1. 概要

- イライラ箇所(52箇所)のうち、「渋滞」を抽出要因とする32箇所について、対策完了しCHECK(評価)段階の箇所が7箇所あります。また32箇所のうち23箇所において「(渋滞等)損失時間」が減少していますが、H20年度データにおいても、24箇所において(渋滞等)損失時間が県平均10倍以上、5箇所において県平均5倍以上となっています。
- 「災害・気象」「積雪」「線形不良・交通不能」を抽出要因とする21箇所(1箇所は渋滞と重複)については、CHECK(評価)段階の箇所は5箇所です。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 新たな箇所

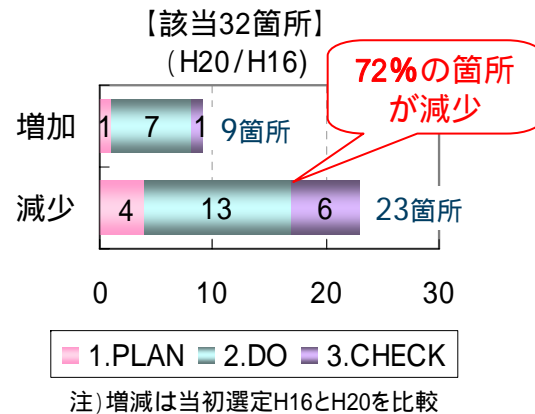
7. パプコメ

8. 新イライラ箇所

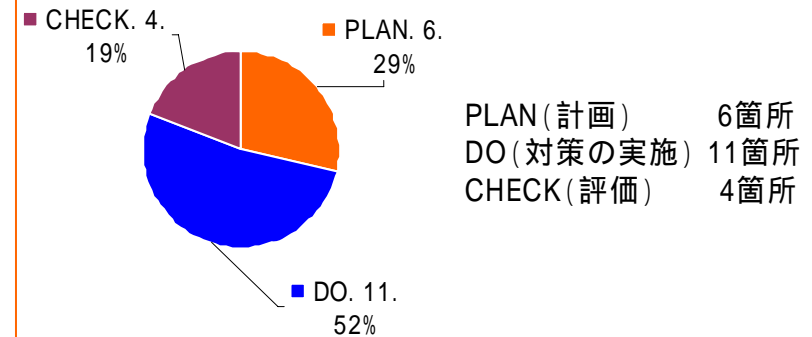
9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

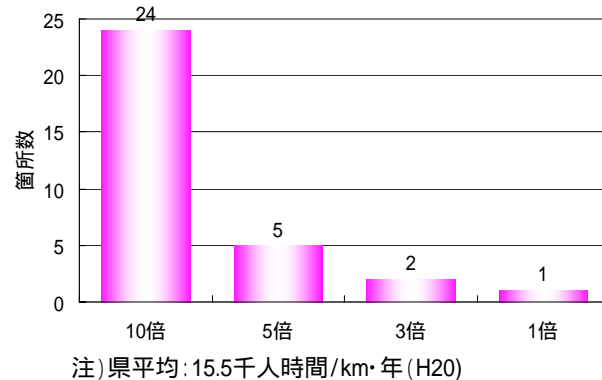
< (渋滞等)損失時間の変化 >



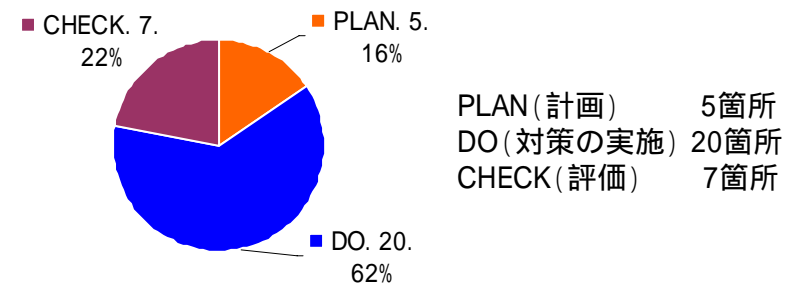
「災害・気象」「積雪」「線形不良・交通不能」
21箇所



< H20(渋滞等)損失時間が県平均値を超える箇所数 >



「渋滞」32箇所



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5 - 5. ハラハラ箇所の評価指標の推移

1. 概要

➤ ハラハラ(50箇所)のうちCHECK(評価)段階の箇所は、「死傷事故率比」を抽出要因とした27箇所のうち16箇所、「死傷事故件数」を抽出要因とした38箇所のうち23箇所です。

2. 道路現況

➤ 「死傷事故率比」は、この指標を抽出要因とした27箇所のうち24箇所が減少、「死傷事故件数」は、この指標を抽出要因とした38箇所のうち33箇所が減少しています。

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

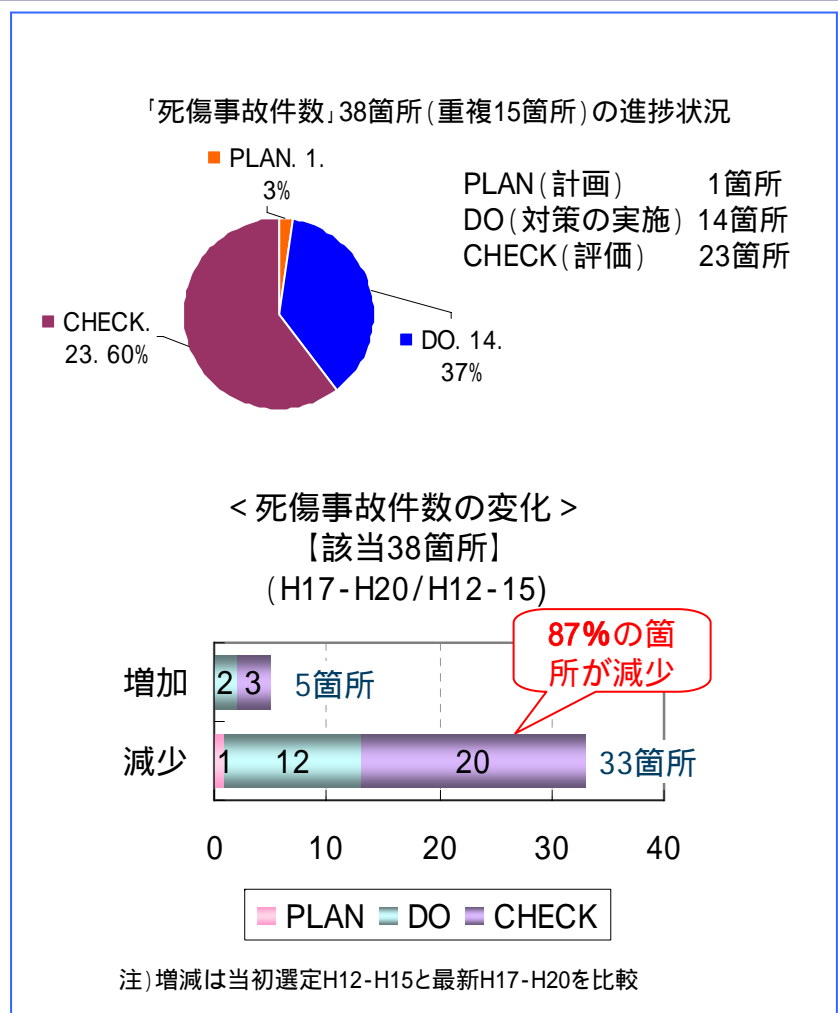
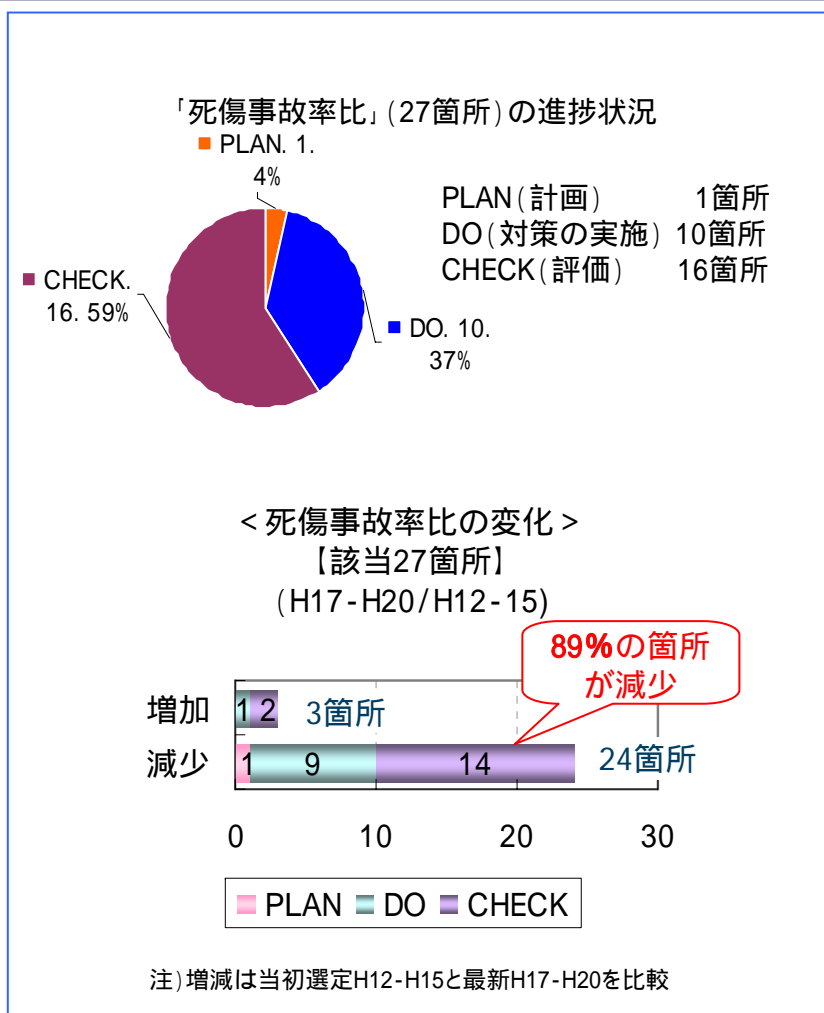
6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-6. イライラ箇所の対策事例 (速報)

～一般国道18号 上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り～

1. 概要

➢ イライラ箇所 No.1 国道18号上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り の対策内容および効果を以下に整理しました。

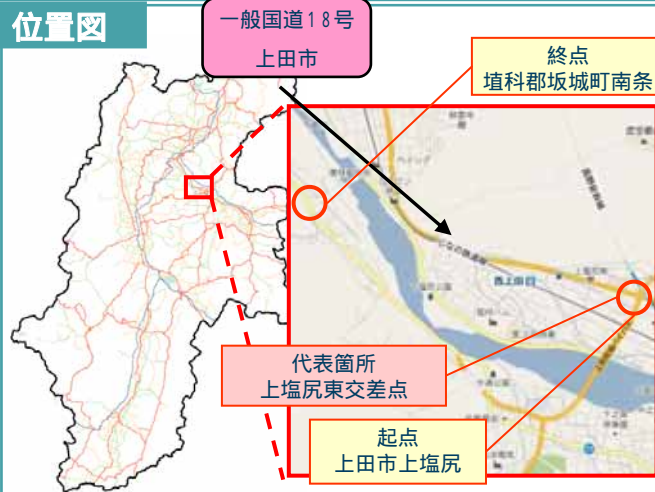
2. 道路現況

➢ 当該箇所の対策として、国道18号上田坂城バイパス(L=4.9km)の整備を進めてきました。上田坂城バイパスでは、H19.3に上田市上塩尻～小泉(L=2.6km)が開通しており、今回、H22.314に上田市小泉～埴科郡坂城町南条(L=2.3km)が開通したことで、全線2車線にて開通しました。

3. 新たな取組

➢ 今回の開通により、並行する国道18号の開通直後の交通量が減少しています。

4. 第7回位置付け



対策内容

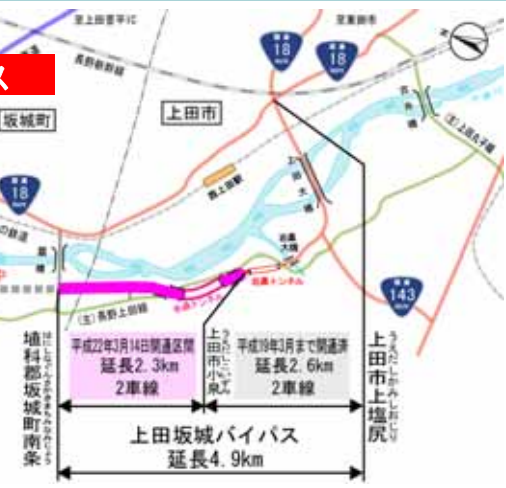
対策内容: 国道18号上田坂城バイパス

- ・H19.3に上田市上塩尻～小泉(L=2.6km)が暫定供用
- ・今回、H22.314に上田市小泉～埴科郡坂城町南条(L=2.3km)が供用

期待される整備効果

国道18号の上塩尻東交差点～鼠橋通り交差点間の交通が分散されることによる交通渋滞の緩和と交通事故の減少

落石の恐れにより通行止めとなっている区間の代替路となり、上田市・坂城町間の安全で安心な往来を可能とする



6. 新たな箇所

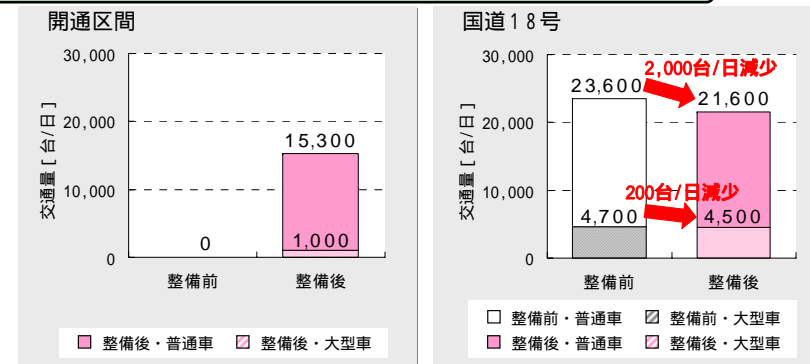
交通渋滞の発生状況

平成20年度の上塩尻東交差点付近の損失時間は、最大で515千人時間/年・kmで、長野県平均の約33倍となっています。



効果評価

並行する国道18号の交通量が減少。これに伴い大型車交通量も減少



[出典: 長野国道事務所 開通前H21.11.11(水)、開通後H22.3.17(水)]

5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5-7. ハラハラ箇所の対策事例（速報）

～ 一般国道18号 長野市西尾張部 ～

1. 概要

- ハラハラ箇所 No.30 一般国道18号 長野市西尾張部 の対策内容および効果評価を以下に整理しました。
- 当該箇所の対策として、平成18年12月に予告矢印およびセンターゼブラ標示、右折帯を設置し、追突事故等の防止を図りました。
- 対策後の評価期間が2年ではありますが、死傷事故件数及び着目した追突事故の両方とも、改善効果がみられました。今後も経過観察を行いながら改善効果の評価を行います。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

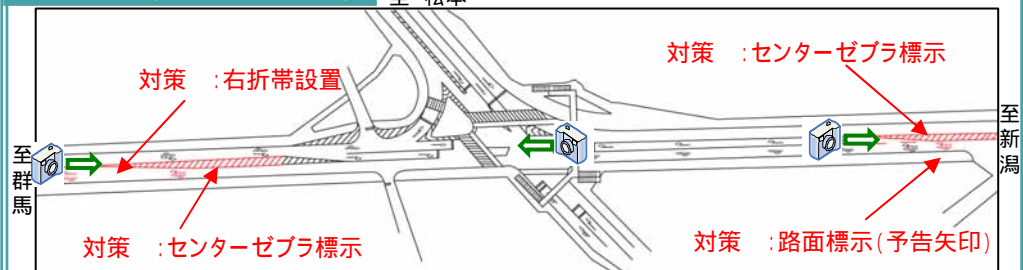
10. 今後の方針

位置図

該当区間は、車道幅員が広く、車両の走行位置が不安定であり、かつ右折帯が設置されていないため、追突事故等が発生。



対策内容(H18.12完了)



センターゼブラ標示



センターゼブラを設置して車両走行の安定化を図り、追突等の事故を防止する。

路面標示(予告矢印)



路面標示(予告矢印)を設置し安定した車線変更を促し、追突事故を防止する。

右折帯設置



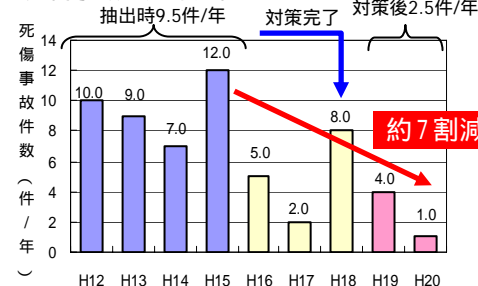
右折帯を設置して直進車と右折車の錯綜を抑制する。

効果評価

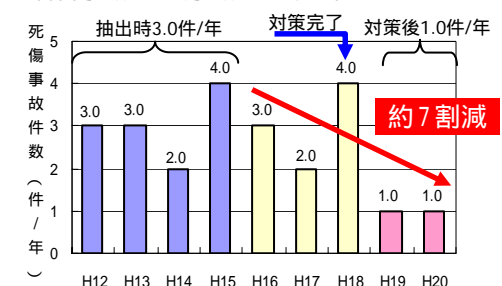
抽出時(H12-15)と対策後(H19-20)を比較すると、下記のとおり、大幅な改善効果がみられる。

- ・死傷事故件数は、約7件/年減(74%減)
- ・着目事故(追突事故)は約2件減(67%減)

【死傷事故の経年変化】



【着目事故:追突事故の経年変化】



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5 - 7. ハラハラ箇所の対策事例（速報）～一般国道19号 塩尻市大門七区～

1. 概要

- ハラハラ箇所 No.35 国道19号塩尻市大門七区 では、平成22年11月19日に対策が完了しました。
- 該当箇所の対策として、右折レーン設置により、右折待ち車両の安全を確保しました。
- 追突事故や右折×直進事故の減少及び右折車両による車線閉塞に起因する渋滞の解消が期待されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

イライラ進捗状況

ハラハラ進捗状況

進捗状況とりまとめ

イライラ指標推移

ハラハラ指標推移

イライラ評価事例

ハラハラ評価事例

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

位置図



< 整備前 >



対策内容(H22.11.19完了)

< 整備後 >



右折車線の設置 (名古屋方面)



右折車線の設置 (松本方面)



右折導流線の設置

期待される整備効果

交通事故の減少

[A. 右折車線の設置]

- 右折交通を直進車から分離することによる追突事故の減少
- 無理な右折に起因する右折×直進事故の減少

[B. 右折導流線の設置]

- 走行経路の安定による右折×直進事故の減少

[C. 排水性舗装への改良]

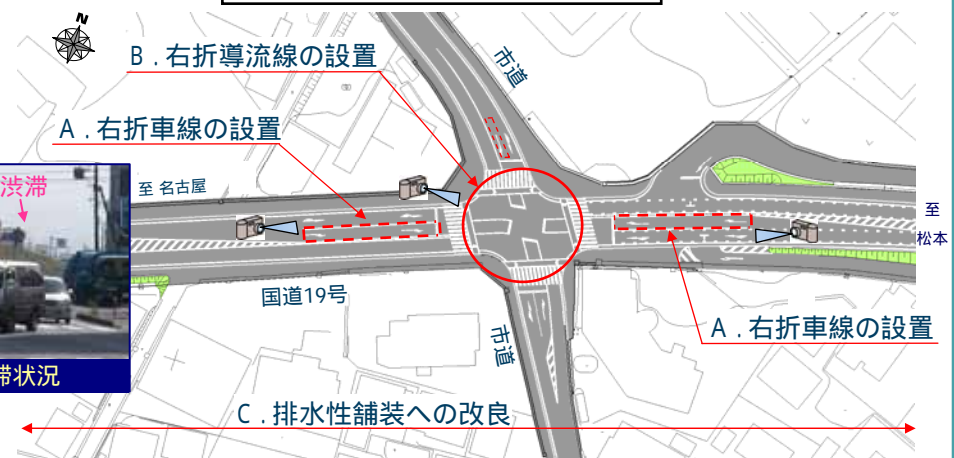
- 降雨時の視認性向上による追突事故の減少

渋滞の解消

- 右折車両による車線閉塞に起因する渋滞の解消



整備前の渋滞状況



5. イライラ・ハラハラ箇所のフォローアップ

< 個別箇所PDCA >

5 - 7. イライラ・ハラハラ箇所の対策事例（速報）～（主）長野真田線 長野市下氷鉤付近～

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォローアップ
 - イライラ進捗状況
 - ハラハラ進捗状況
 - 進捗状況とりまとめ
 - イライラ指標推移
 - ハラハラ指標推移
 - イライラ評価事例
 - ハラハラ評価事例

➢ 小島田バイパスの供用（H22.11.23）により、イライラ箇所<No.24>、ハラハラ箇所<No.50>（主）長野真田線 長野市下氷鉤付近の対策が完了しました。

➢ 4車線のバイパス整備（L=1.15km）により、交通の円滑化、交通安全性の向上が期待されます。



交通事故の発生状況

事業名 : 小島田バイパス

目的 : 主要地方道長野真田線は、長野市街地と上信越自動車道長野ICを結ぶ幹線道路であるが、朝夕を中心に慢性的な渋滞が発生している。4車線のバイパスを整備することにより、交通の円滑化が図られ、生活利便性の向上、地域産業・観光の活性化が期待できる。

全体計画 : 計画延長 L = 1,150m
計画幅員 W = 13.0m(車道)、27.0m(全幅)

事業期間 : 平成15年度～平成22年度

- 6. 新たな箇所
- 7. パブコメ
- 8. 新イライラ箇所
- 9. 新ハラハラ箇所
- 10. 今後の方針

整備効果

アクセス時間の短縮
小島田バイパスの整備により、長野インターから県庁までの所要時間が**約4分短縮**されます。

交通事故の減少
交通事故発生状況(H14年～18年の5ヶ年間)

車両事故	35件
車両と自転車歩行者との事故	5件
(うち死亡事故2件)	

➡ 渋滞の解消、歩道整備により、これらの事故の減少が期待されます。



[出典:長野県]

6 . 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所（前回内容）

< 個別箇所PDCA >

6 - 1 . 新たなイライラ候補箇所の提示

1. 概要

- 未対策・対策継続中の現イライラ箇所は、引き続き、対策実施や対策内容の検討を進めていきます。
- 「混雑多発箇所」を指標として追加、最新データで各指標を整理・把握し、新たなイライラ候補箇所4箇所を提示しました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

イライラ箇所

ハラハラ箇所

抽出結果

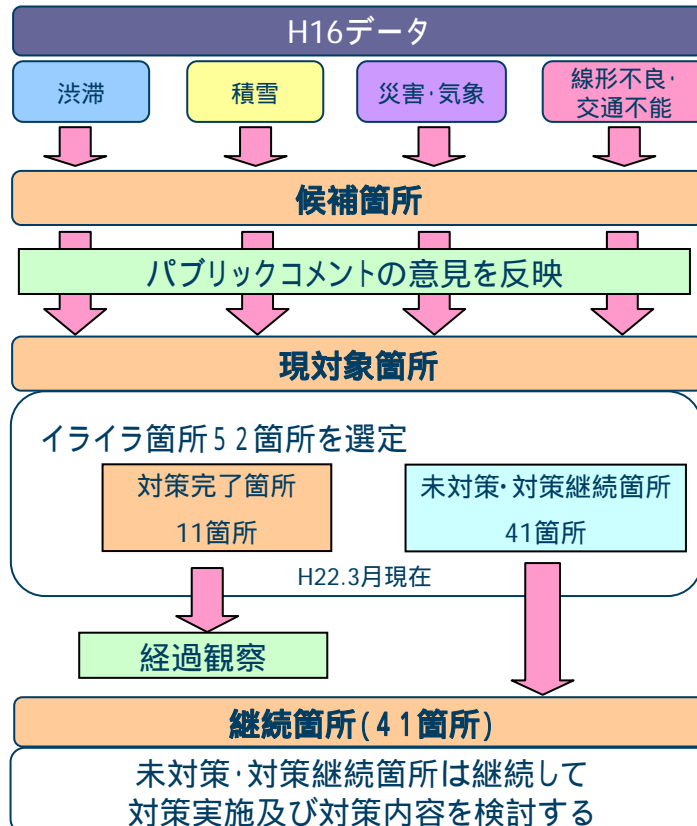
7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

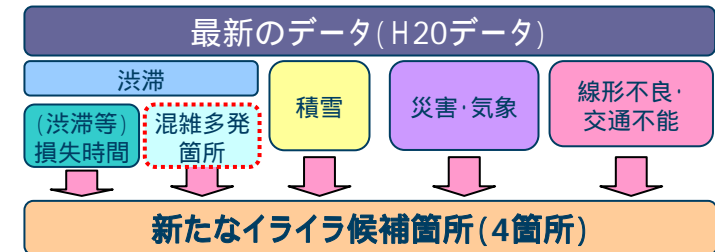
10. 今後の方針

現イライラ箇所（52箇所）



現イライラ箇所の進捗は、「P17. 5-1 イライラ箇所の進捗状況」を参照

最新データによる新たなイライラ候補箇所の抽出



新たなイライラ候補箇所の条件

都市部		郊外部	
渋滞	1kmあたり(渋滞等による)損失時間がH20の長野県平均(15.5千人時間/年 ^千)の10倍以上の区間から、値が連続して高い箇所を主に抽出	災害・気象	主要な幹線道路において、災害や気象状況による全面通行止め実績がある区間を抽出
混雑多発箇所	全国基準(H20年度VICSデータ(渋滞等による)損失時間データ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所	積雪	除雪後の堆積により車道幅員を確保できない区間を抽出
		線形不良・交通不能	主要な幹線道路において、急カーブ・急勾配・狭小幅員などの道路線形に問題のある区間または交通不能区間を抽出
		混雑多発箇所	全国基準(H17道路交通センサデータ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所

6 . 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所（前回内容）

< 個別箇所PDCA >

6 - 2 . 新たなハラハラ候補箇所の提示

1. 概要

- 未対策・対策継続中の現ハラハラ箇所は、引き続き、対策実施や対策内容の検討を進めていきます。
- 最新のデータにより各指標を整理・把握し、新たなハラハラ候補箇所9箇所を提示しました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

イライラ箇所

ハラハラ箇所

抽出結果

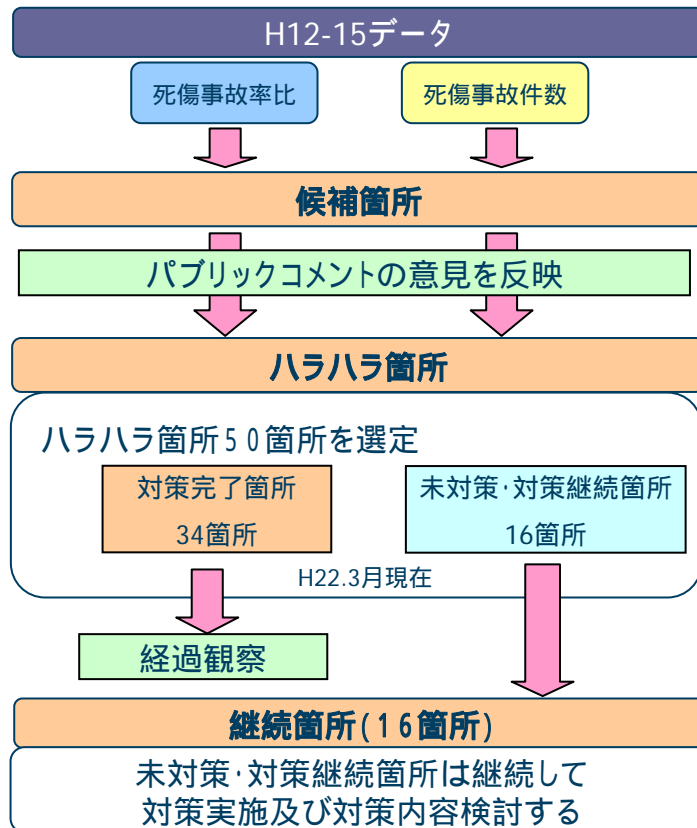
7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

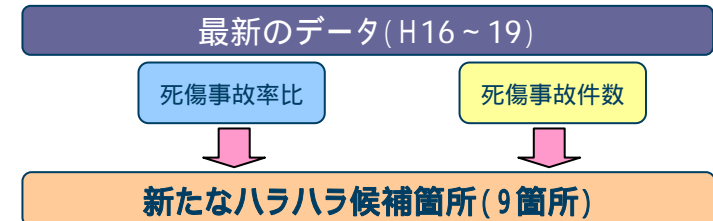
10. 今後の方針

現ハラハラ箇所(50箇所)



現ハラハラ箇所の進捗は、「P18. 5-2 ハラハラ箇所の進捗状況」を参照

最新データによる新たなハラハラ候補箇所の抽出



新たなハラハラ候補箇所の条件

第1次抽出

H16-19の4年間死傷事故件数が長野県平均の5倍以上の区間を抽出

第2次抽出

抽出された区間からさらに厳選

死傷事故率比

死傷事故率比が長野県平均の10倍以上の区間から事故の発生しやすい箇所を抽出

または

追突などによる死傷事故件数

追突事故や歩行者・自転車事故が多く発生している箇所を抽出

6 . 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所（前回内容）

< 個別箇所PDCA >

6 - 3 . 新たなイライラ・ハラハラ候補箇所

1. 概要

➤ 新たな候補箇所として、イライラ候補箇所4箇所、ハラハラ候補箇所9箇所を提示しました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

イライラ箇所

ハラハラ箇所

抽出結果

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

新たなイライラ候補箇所の条件[再掲]

都市部		郊外部	
渋滞	1kmあたり(渋滞等による)損失時間がH20の長野県平均(15.5千人時間/年*)の10倍以上の区間から、楕が連続して高い箇所を主に抽出	災害・気象	主要な幹線道路において、災害や気象状況による全面通行止め実績がある区間を抽出
遅延多発箇所	全国基準(H20年度VICSデータ(渋滞等による)損失時間データ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所	積雪	除雪後の凍結により車道幅員を確保できない区間を抽出
		急降・急上り・急カーブ	主要な幹線道路において、急カーブ・急勾配・狭小幅員などの道路形状に問題のある区間または交通不能区間を抽出
		遅延多発箇所	全国基準(H17道路交通センサデータ)に基づき選定された箇所のうち、道路管理者(国、県)および交通管理者が現地状況を勘案・検討したうえで、選定した箇所

新たなイライラ候補箇所

No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因
1	一般国道18号	軽井沢町南軽井沢～浅間サンライン入口	渋滞
2	一般国道18号	長野市篠ノ井橋北～綱島	渋滞
3	一般国道19号	長野市下氷館小学校北～大塚南	渋滞
4	(主)長野上田線	長野市稲里西～御幣川	渋滞

新たなハラハラ候補箇所の条件[再掲]

第1次抽出	第2次抽出
H16-19死傷事故件数が長野県平均の10倍以上の区間を抽出	抽出された区間からさらに厳選
	死傷事故率比 死傷事故率比が長野県平均の10倍以上の区間から事故の発生しやすい箇所を抽出
	または
	追突などによる死傷事故件数 追突事故や歩行者・自転車事故が多く発生している箇所を抽出

新たなハラハラ候補箇所

No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因
1	一般国道18号	軽井沢町浅間サンライン入口	死傷事故件数
2	一般国道18号	上田市大屋	死傷事故件数
3	一般国道18号	千曲市杭瀬下	死傷事故件数
4	一般国道19号	塩尻市九里巾	死傷事故件数
5	一般国道19号	塩尻市堅石原工業団地	死傷事故件数
6	一般国道19号	安曇野市田沢	死傷事故件数
7	一般国道19号	長野市市役所前	死傷事故件数
8	一般国道20号	諏訪市四賀桑原	死傷事故件数
9	(一)長野豊野線	長野市徳間付近	死傷事故件数

新たなイライラ・ハラハラ候補箇所の位置図



7. パブリックコメントの結果報告

< プランPDCA >

< 個別箇所PDCA >

7-1. パブリックコメントの実施概要

1. 概要

➤ 「取り組みの認知度」、「取り組みの評価」、「対策完了箇所の評価」、「新たなイライラ・ハラハラ候補箇所に対する意見」の収集を目的として、平成22年2月26日～3月19日の間パブリックコメントを実施しました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

8. 新イライラ箇所

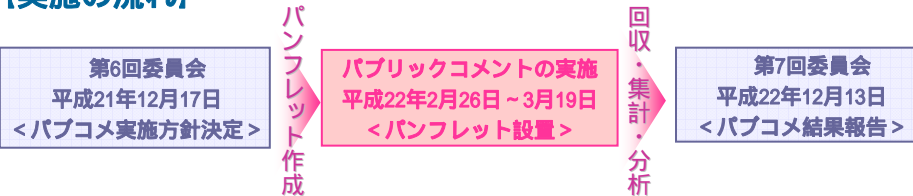
9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

【実施概要】

実施期間 : 平成22年2月26日～3月19日
 実施媒体 : パンフレット、インターネット
 新聞広告等多様な媒体を使用し実施告知
 配布数 : パンフレット 10,000部
 配布先 : 道の駅・警察署・運転免許センター、
 市町村、県の各建設事務所 など
 回収数 : 847件 (パンフレット 821件(回収率8.2%))(インターネット 26件)

【実施の流れ】



パンフレット



【パブリックコメントの設問】

N	調査内容	設問
1	全体の実施状況	全体の実施状況に対する感想。
2	取り組みの認知度 / 取り組みへのプロセスに対する意見	長野県内の「イライラ」「ハラハラ」箇所の解消に向けて、対策を進めていることを知っているか。 対策完了した箇所の経過観察に対しての、意見・要望。
3	新たな対策箇所のうち、最も優先的に改善すべき箇所 / 今後の取り組み等についての意見・要望	【イライラ箇所】: 最も優先的に改善すべきだと思う箇所(区間)。 【ハラハラ箇所】: 最も優先的に改善すべきと思う箇所(区間)。 それ以外で改善が必要と思われる箇所。 イライラ、「ハラハラ」箇所の解消に向けた今後の取り組み等に対する意見・要望。

新聞



7. パブリックコメントの結果報告

<プランPDCA>

<個別箇所PDCA>

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

- 運転免許保有者が多い30代～50代の男性の方を中心に回答を得ました。
- 本取組を知っている方は半数をやや下回っておりますが、認知度には地域差があり、上小地域が最も高く7割を越えています。一方、大北地域では最も低く2割に留まっています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

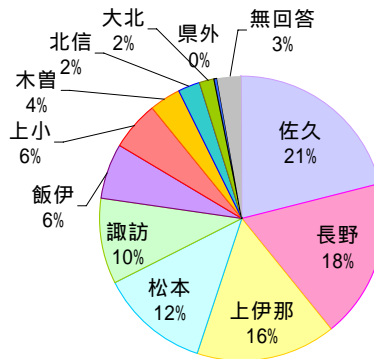
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

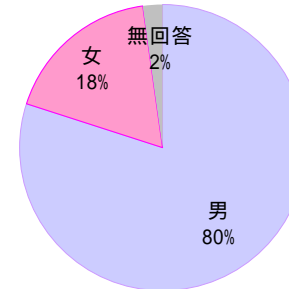
10. 今後の方針

【回答者の属性】

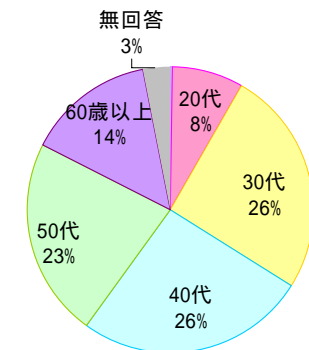
- 回答者の居住地で最も多いのは、「佐久」の21.2%で、次に多いのは「長野」であり、18.0%で続いています。
- 「男」が79.9%と、「女」の18.0%を大きく上回る結果となっています。
- 年齢は、30代～50代が多く、第1位は「40代」の26.1%となっています。



図：居住地



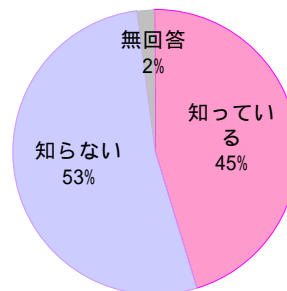
図：性別



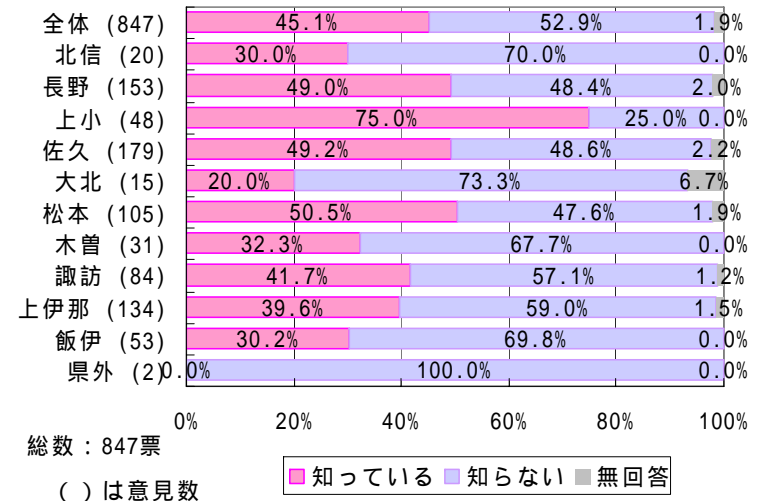
図：年齢

【取組の認知度】

- “イライラ”“ハラハラ”の取り組みについて「知らない」が53.0%で、「知っている」の45.2%を上回る結果となっています。
- 地域別に見ると、上小地域は取り組みの認知度が最も高く、大北地域が取り組みの認知度が最も低くなっています。
- 長野、佐久、松本地域では約半数が取り組みを実施していることを認知しています。



図：認知度



図：地域別の認知度

7. パブリックコメントの結果報告

< プランPDCA >

< 個別箇所PDCA >

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

- 取組の実施状況への評価では、「もっと早く対策を推進してほしい」という回答が8割を占めており、地域別に見ても6割以上となっています。
- また、取組に対して経年的な整備効果把握を評価する人が9割を占めています。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

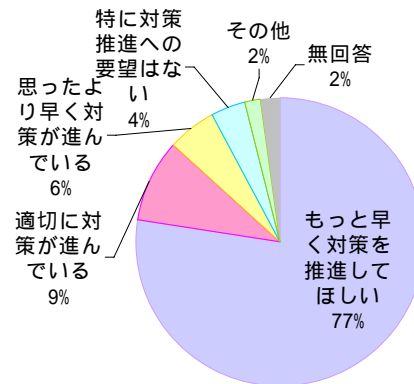
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

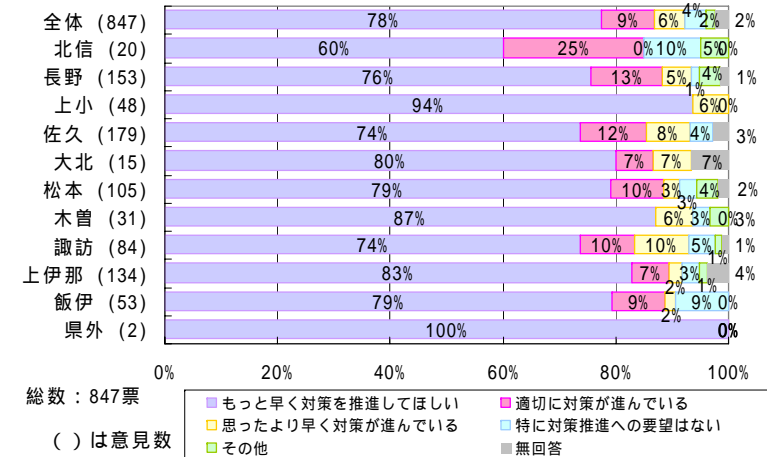
10. 今後の方針

【取組の実施状況の評価】

- 「もっと早く対策を推進してほしい」が77.5%で、他に比べて格段に多くなっています。
- 地域別に見ると、全ての地域で「もっと早く対策を推進してほしい」意見が過半数以上を占めています。
- 北信地域では、対策の早期推進の意見が多い中、「適切に対策がすすんでいる」と評価している回答者の割合が多くなっています。



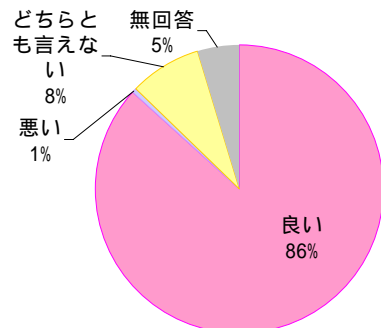
図：実施状況の評価



図：地域別の実施状況の評価

【経年的な整備効果把握について】

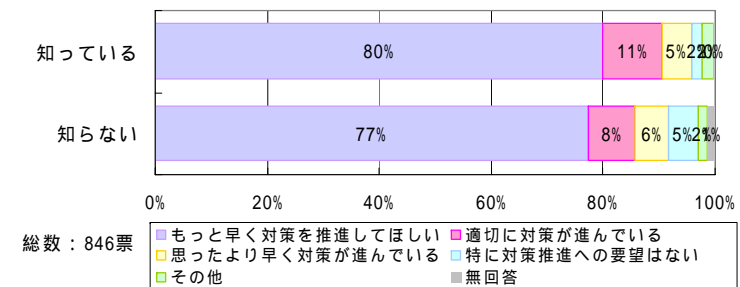
- 「良い」が86.6%で、「悪い」の0.7%をかなり上回る結果となっています。



図：経過観察について

【認知度別の実施状況の評価】

- 認知度別に実施状況の評価を見ても、「もっと早く対策を推進してほしい」が8割近くを占めています。



図：取組認知度別の実施状況評価

7. パブリックコメントの結果報告

< プランPDCA >

< 個別箇所PDCA >

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

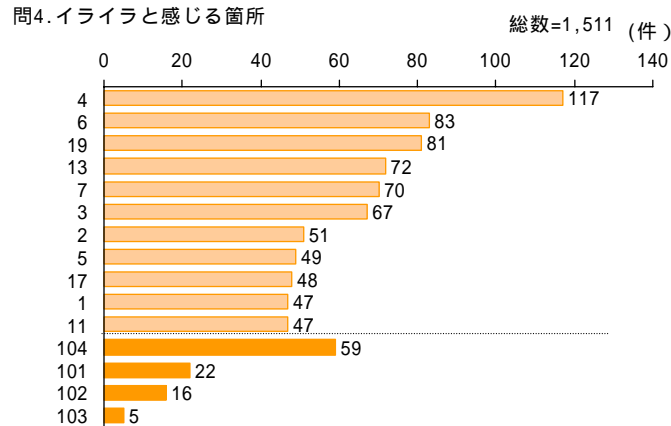
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

- イライラと感じる箇所について、長野市、松本市などの一般国道が多く指摘されました。
- 新たなイライラ候補箇所についても全箇所回答を得ております。No104は多数指摘されており、H18イライラ箇所を含む箇所全体でも、上位に位置しています。

【イライラと感じる箇所】 H18イライラ箇所、新たなイライラ箇所の中で、普段イライラ感じる箇所(区間) (3箇所まで)



問4.H18イライラ箇所

順位	No.	項目名	集計値	構成比(%)
1	4	一般国道18号 長野市上千田～柳原北	117	7.7%
2	6	一般国道19号 松本市芳野～白板	83	5.5%
3	19	一般国道158号 松本市渚1丁目付近	81	5.4%
4	13	一般国道141号 佐久市跡部付近	72	4.8%
5	7	一般国道19号 塩尻市吉田北～松本市平田	70	4.6%
6	3	一般国道18号 千曲市戸倉～粟佐	67	4.4%
7	2	一般国道18号 上田市大屋付近	51	3.4%
8	5	一般国道19号 長野市中御所～居町	49	3.2%
9	17	一般国道153号 飯田市インター付近	48	3.2%
10	1	一般国道18号 上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り	47	3.1%
10	11	一般国道20号 下諏訪町富部～西大路口	47	3.1%

問4.新たなイライラ箇所

順位	No.	項目名	集計値	構成比(%)
1	104	(主)長野上田線 長野市稲里西～御幣川	59	3.9%
2	101	一般国道18号 軽井沢町南軽井沢～浅間サンライン入口	22	1.5%
3	102	一般国道18号 長野市篠ノ井橋北～網島	16	1.1%
4	103	一般国道19号 長野市下氷鉦小学校北～大塚南	5	0.3%



7. パブリックコメントの結果報告

< プランPDCA >

< 個別箇所PDCA >

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

8. 新イライラ箇所

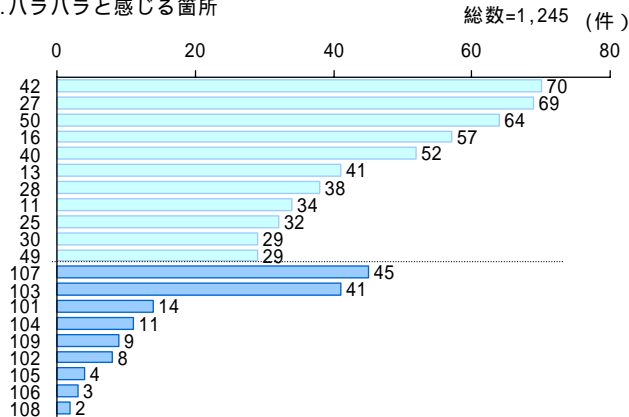
9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

- ハラハラと感じる箇所について、佐久市、岡谷市、長野市のなど一般国道、県道の箇所が多く指摘されました。
- 新たなハラハラ候補箇所についても多数指摘されているところもあり、H18ハラハラ箇所を含む箇所全体でもめても指摘の10位以内に位置するものもあります。

【ハラハラと感じる箇所】 H18ハラハラ箇所、新たなハラハラ箇所の中で、普段ハラハラ感じる箇所(区間) (3箇所まで)

問4.ハラハラと感じる箇所



問4.H18ハラハラ箇所

順位	No.	項目名	集計値	構成比(%)
1	42	一般国道142号 佐久市跡部付近	70	5.6%
2	27	(主)下諏訪辰野線 岡谷市川岸上1丁目-川岸保育園前	69	5.5%
3	50	(主)長野真田線 長野市下水鉋付近	64	5.1%
4	16	一般国道19号 松本市渚1丁目	57	4.6%
5	40	一般国道20号 岡谷市今井付近	52	4.2%
6	13	一般国道18号 長野市稲葉付近	41	3.3%
7	28	一般国道18号 上田市国分西-中央5丁目	38	3.1%
8	11	一般国道141号 小諸市赤坂	34	2.7%
9	25	(主)伊那辰野停車場線 伊那市上牧	32	2.6%
10	30	一般国道18号 長野市西尾張部	29	2.3%
10	49	(主)岡谷茅野線 諏訪市大熊	29	2.3%

問4.新ハラハラ箇所

順位	No.	項目名	集計値	構成比(%)
1	107	一般国道19号 長野市市役所前	45	3.6%
2	103	一般国道18号 千曲市杭瀬下	41	3.3%
3	101	一般国道18号 軽井沢町浅間サンライン入口	14	1.1%
4	104	一般国道19号 塩尻市九里巾	11	0.9%
5	109	(一)長野豊野線 長野市徳間付近	9	0.7%
6	102	一般国道18号 上田市大屋	8	0.6%
7	105	一般国道19号 塩尻市堅石原工業団地	4	0.3%
8	106	一般国道19号 安曇野市田沢	3	0.2%
9	108	一般国道20号 諏訪市四賀桑原	2	0.2%



7. パブリックコメントの結果報告

< プランPDCA >

< 個別箇所PDCA >

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

- ▶ 各地域で候補箇所以外にもイライラ箇所があるというご意見を頂きました。
- ▶ 地域別に見ると、上伊那、飯伊地域の8割以上の方から、今回パブリックコメントで提示した候補箇所以外の箇所についてご意見を頂きました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

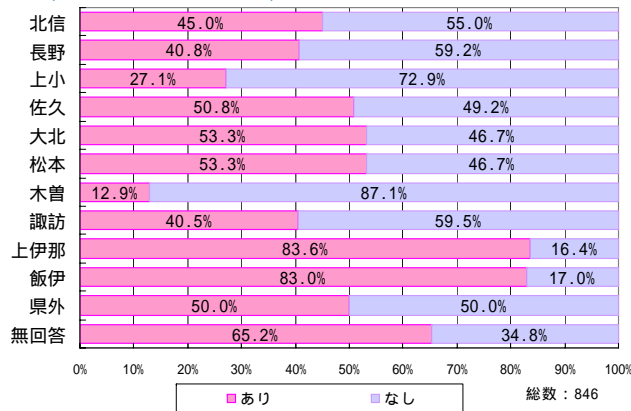
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

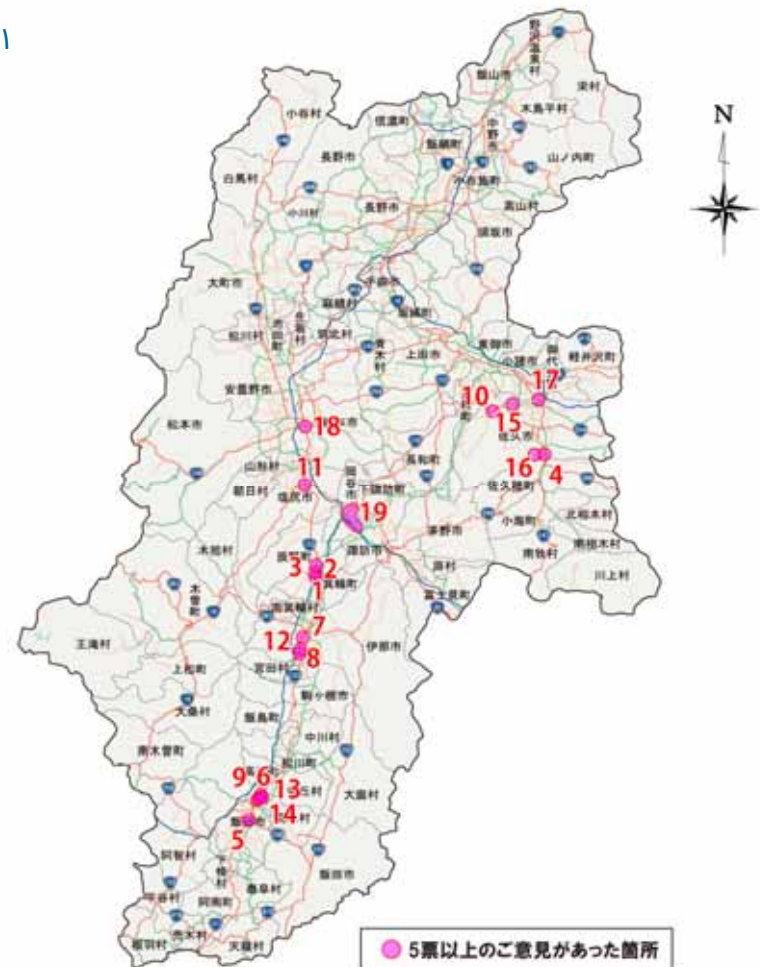
【候補箇所以外のイライラ箇所の有無】

▶ 「候補箇所以外の箇所」に関するご意見は、上伊那、飯伊地域において割合(地域の80%以上)が高くなっています。



No.	路線名	箇所名
1	国道153号	伊北インター付近
2	国道153号	辰野羽場交差点
3	国道153号	辰野町羽北地区
4	国道141号	佐久市勝間
5	国道151号	飯田市八幡町付近
6	国道153号	上郷～座光寺
7	国道153号	伊那市西町平成大橋信号
8	国道153号	沢渡
9	国道153号	上郷高屋交差点～座光寺共和交差点
10	国道142号	号新望月トンネル付近
11	国道19号	塩尻市高出の付近
12	国道153号	東春近大橋
13	国道153号	飯田市上郷
14	国道153号	上郷飯沼
15	県道44号	線赤岩付近
16	県道上小田切白田停車場線	上小田切地区
17	国道141号	佐久平駅周辺
18	国道143号	線松本市渚1丁目付近
19	下辰線	下諏訪町～辰野町

5票以上の箇所(全556票)



5票以上の箇所

7. パブリックコメントの結果報告

<プランPDCA>

<個別箇所PDCA>

7-2. パブリックコメントの実施結果

1. 概要

- ▶ 各地域で候補箇所以外にもハラハラ箇所があるというご意見を頂きました。
- ▶ 地域別に見ると、上伊那、佐久地域の6割以上の方から、今回パブリックコメントで提示した候補箇所以外の箇所についてご意見を頂きました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

実施概要

実施結果

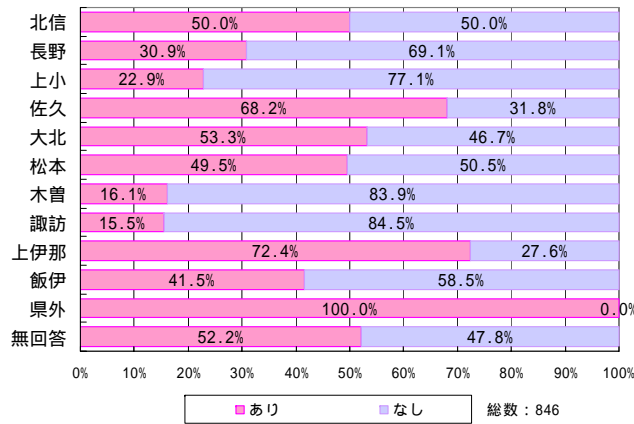
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

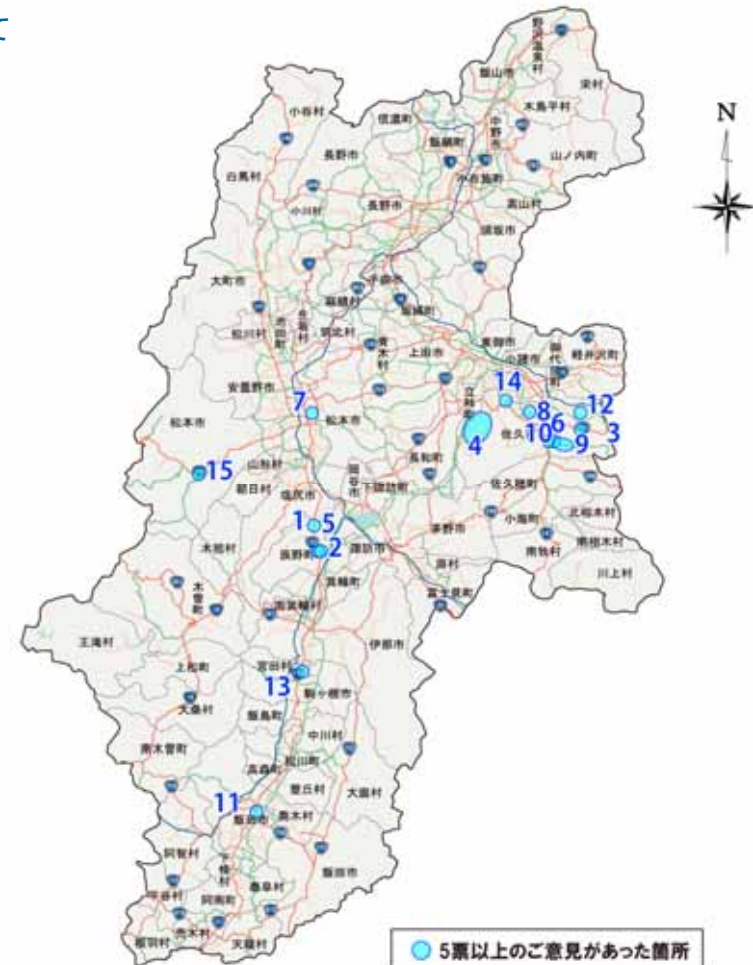
【候補箇所以外のハラハラ箇所の有無】

▶ 「候補箇所以外の箇所」に関するご意見は、上伊那、佐久地域において割合（地域の60%以上）が高くなっています。



No.	路線名	箇所名
1	国道153号	宮所付近
2	国道153号	号線宮所と小野地籍
3	国道245号	佐久市内山254号相立（急カーブ）
4	県道151号湯沢望月線	佐久市春日地区の県道
5	国道153号	小野
6	県道三分中込線	佐久市三分田口支所南交差点
7	国道19号	松本市白板1丁目交差点
8	県道78号佐久小諸線	佐久市小諸落合地区
9	県道下仁田白田線	三分地区
10	県道川上佐久線	佐久市下越三反田通り中央付近交差点
11	国道151号	飯田市八幡
12	県道下仁田浅科線	志賀集落内
13	県道宮田沢渡線	宮田村駒ヶ原地区
14	県道八幡小諸線	八幡中町交差点
15	国道158号	奈川渡ダム付近

5票以上の箇所(全485票)



5票以上の箇所

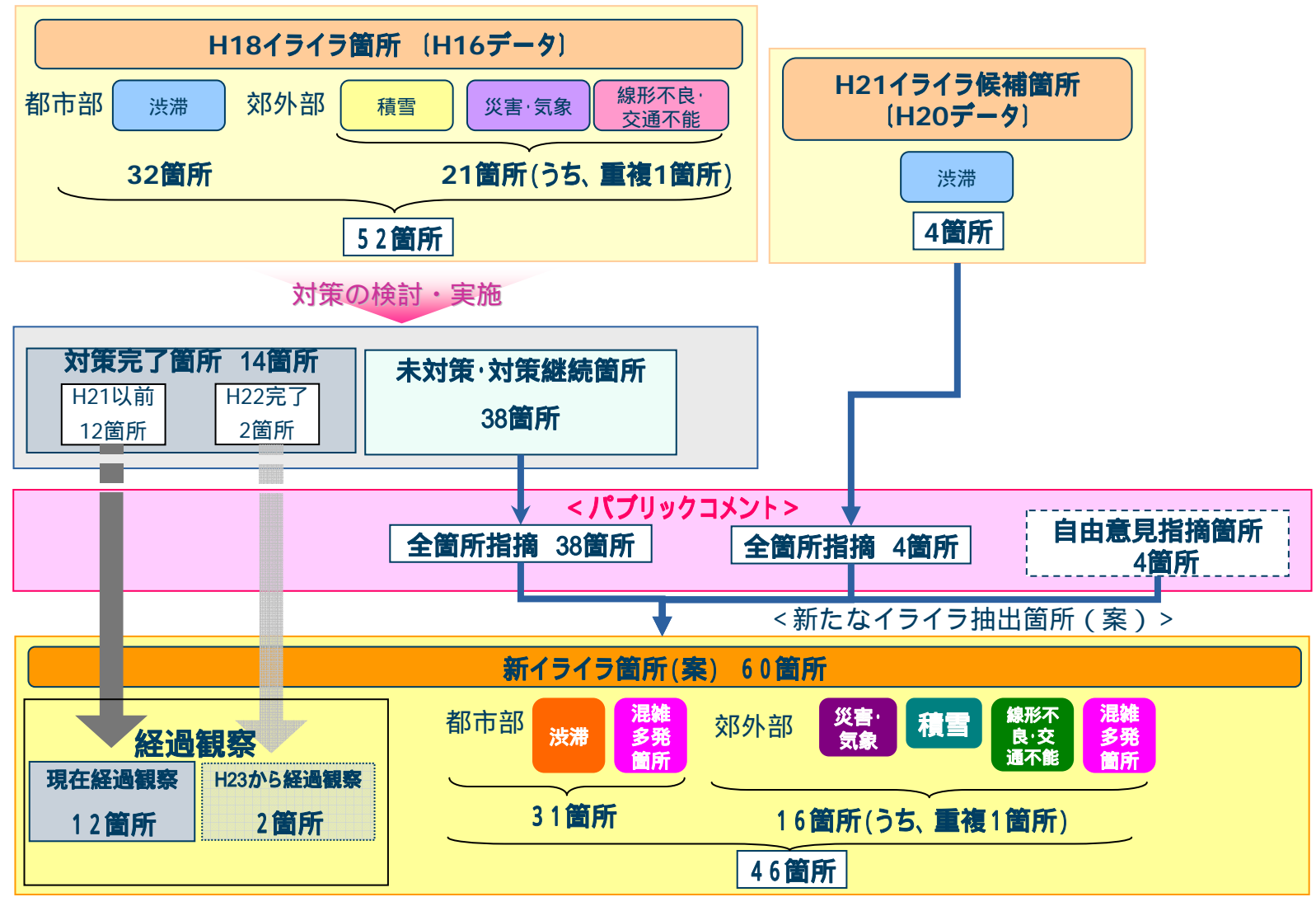
8. 新イライラ箇所（案）

< 個別箇所PDCA >

8-1. 新たなイライラ抽出箇所（案）

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 新たな箇所
- 7. パブコメ
- 8. 新イライラ箇所
抽出結果
新イライラ対策
- 9. 新ハラハラ箇所
- 10. 今後の方針

➢ H18イライラ箇所は、パブリックコメントにより全箇所で指摘を受けたことから、52箇所全てを新イライラ箇所に移行します
 ➢ 新たなイライラ抽出箇所(案)は、H21イライラ候補箇所4箇所とパブコメ自由意見にて指摘された4箇所の計8箇所です。



8 . 新イライラ箇所 (案)

8 - 2 . 新イライラ箇所(案)の一覧 (H18イライラ箇所)

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

➢ H18イライラ箇所の52箇所は全箇所新イライラ箇所に移行させ、14箇所の経過観察箇所(H23開始含む)は効果把握を行うとともに、残る38箇所は引き続き対策継続もしくは対策内容の検討を行います。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-Up

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

抽出結果

新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

Plan

No.	路線名	場所	Plan	Do	Check	Action	(参考)				
			検討中	計画済	準備中	実施中	完了	調査中	評価済	経過観察	対策事業(想定含む)
1	一般国道18号	上田市上塩尻東～坂城町鼠橋通り								経過観察	上田坂城バイパス
2	一般国道18号	上田市大屋付近									上田バイパス
3	一般国道18号	千曲市戸倉～粟佐									坂城更埴バイパス
4	一般国道18号	長野市上千田～柳原北									長野東バイパス
5	一般国道19号	長野市中御所～居町									検討中
6	一般国道19号	松本市芳野～白坂									松本拡幅
7	一般国道19号	塩尻市吉田北～松本市平田									塩尻北拡幅
8	一般国道20号	茅野市宮川～中河原北									坂室バイパス
9	一般国道20号	諏訪市四賀～赤羽根踏切付近									検討中
10	一般国道20号	諏訪市元町～湖岸通り2丁目									検討中
11	一般国道20号	下諏訪町富部～岡谷市長地									下諏訪岡谷バイパス
12	一般国道20号	岡谷市岡谷インター									岡谷塩尻改良
13	一般国道141号	佐久市跡部付近									白田～野沢バイパス
14	一般国道144号	上田市下原付近									上野バイパス
15	一般国道147号	松本市新橋								経過観察	高家バイパス
16	一般国道152号	上田市大屋駅前									大屋
17	一般国道153号	飯田市インター付近									検討中
18	一般国道153号	駒ヶ根市小町屋南部								経過観察	伊南バイパス
19	一般国道158号	松本市清1丁目付近									松本拡幅
20	一般国道403号	須坂市幸高～須坂インター									幸高～井上拡幅
21	一般国道403号	長野市長野インター南付近									松代
22	一般国道406号	須坂市村山町								経過観察	村山橋
23	一般国道406号	須坂市須坂駅南									検討中
24	(主)長野真田線	長野市下水鉋南付近									小田島
25	(主)長野上田線	上田市三好町									三好町
26	(主)諏訪辰野線	諏訪市洪崎								経過観察	小和田
27	(主)豊科インター堀金線	安曇野市豊科田沢								経過観察	高家バイパス
28	(一)平田新橋線	松本市深志2丁目								経過観察	本町～栄町
29	(一)菟川寺鎌田線	松本市鎌田									鎌田～中条
30	(一)三才大豆島中御所線	長野市荒木									若里
31	(一)稲荷山停車場線	長野市稲荷山駅付近									塩崎
32	(一)払沢茅野線	茅野市茅野市街									永明
33	一般国道18号	信濃町内									野尻バイパス
34	一般国道117号	飯山市中央橋西～新潟県境									箕作～明石
35	一般国道148号	白馬村神城～新潟県境									小谷道路、通、沢渡、白馬駅前
36	(主)飯山野沢温泉線	飯山市蛭川橋～横落									戸那子
37	一般国道19号	上松町上松									検討中
38	一般国道19号	塩尻市奈良井～糞川									検討中
39	一般国道19号	生坂村内									防災(山清路防災)
40	一般国道19号	長野市～長野市笹平トンネル西								経過観察	防災安庭災害復旧事業
41	一般国道20号	下諏訪町藤ノ木～富部									検討中
42	一般国道20号	塩尻市塩尻峠付近									下諏訪岡谷バイパス
43	一般国道158号	松本市中ノ湯～波田町新島々駅付近								経過観察	うすゆき橋バイパス
44	一般国道361号	木曾町神谷									姥神峠道路(延伸)
45	(主)岡谷茅野線	岡谷市湊								経過観察	湊3丁目、湊2丁目、湊花岡(災害関連緊急砂防事業)
46	(一)八島高原線	下諏訪町東俣								経過観察	災害復旧事業
47	(一)白骨温泉線	松本市安曇沢渡付近									白骨
48	(一)白石千曲線	千曲市横町付近								経過観察	防災事業
49	一般国道141号	山梨県境～佐久穂町清水町									市場坂
50	一般国道148号	大町市木崎～青木湖付近									海ノ口
51	一般国道152号	飯田市南信濃青崩峠付近									検討中
52	一般国道256号	飯田市上村付近									検討中

8. 新イライラ箇所(案)

8-2. 新たなイライラ抽出箇所(案)の一覧

< 個別箇所PDCA >

1. 概要

▶最新データやパブリックコメントによる県民の皆様のご意見を踏まえ、8箇所を新たなイライラ抽出箇所(案)としました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

抽出結果

新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. 今後の方針

Plan



No.	路線名	場所(交差点名等)	阻害要因
101	一般国道18号	軽井沢町 南軽井沢～浅間サンライン入口	渋滞/混雑多発
102	一般国道18号	上田市 国分西～上塩尻東	渋滞/混雑多発
103	一般国道18号	上田市 住吉南～緑が丘	渋滞/混雑多発
104	一般国道18号	長野市 篠ノ井橋北～綱島	渋滞/混雑多発
105	一般国道19号	塩尻市 高出～金塚	渋滞/混雑多発
106	一般国道19号	長野市 今里団地北～大塚南	渋滞/混雑多発
107	一般国道153号	辰野町 羽北付近	渋滞
108	(主)長野上田線	長野市 御幣川～稲里西	渋滞/混雑多発

パブリックコメント提示箇所	101、104、106、108
パブリックコメント自由意見指摘箇所	102、103、105、107

9. 新ハラハラ箇所（案）

9-1. 成果を上げるマネジメントへの移行

1. 概要

➤ 道路事業では、透明性・効率性を高めるため、バイパス・拡幅事業等に計画段階評価を導入するとともに、局所的な事業に対し、データ等に基づく「成果を上げるマネジメント」の取組みが導入されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

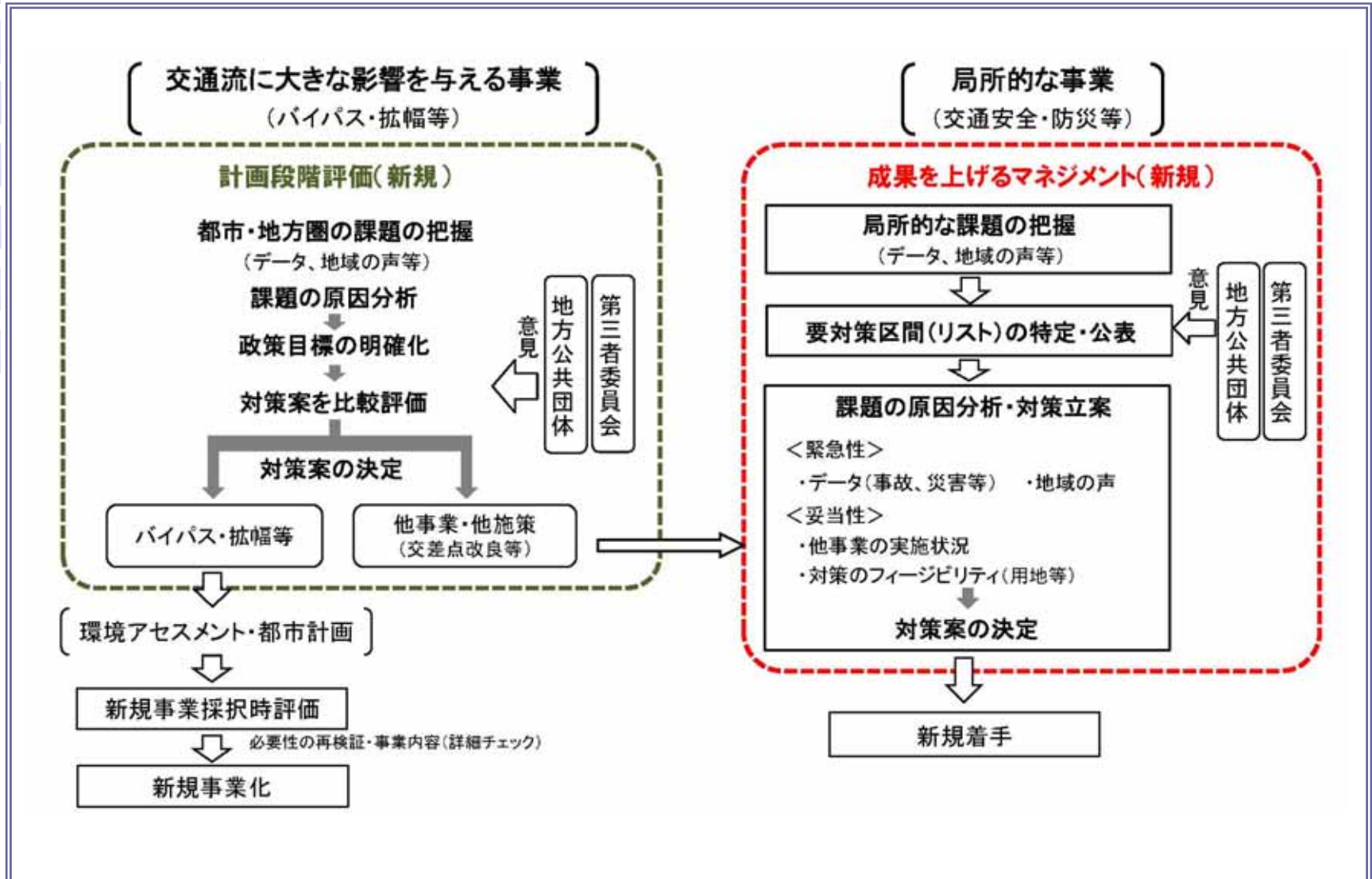
8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

成果マネジメント

新ハラハラ箇所の抽出

10. 今後の方針



9. 新ハラハラ箇所（案）

9-1. 成果を上げるマネジメントへの移行

1. 概要

➤ 交通安全分野では、限られた予算の中、交通事故対策への投資効率を最大限高めるため、「成果を上げるマネジメント」が導入されます。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

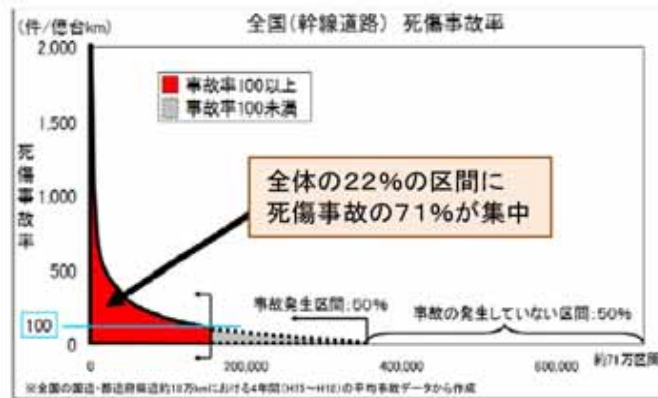
9. 新ハラハラ箇所

成果マネジメント

新ハラハラ箇所の抽出

10. 今後の方針

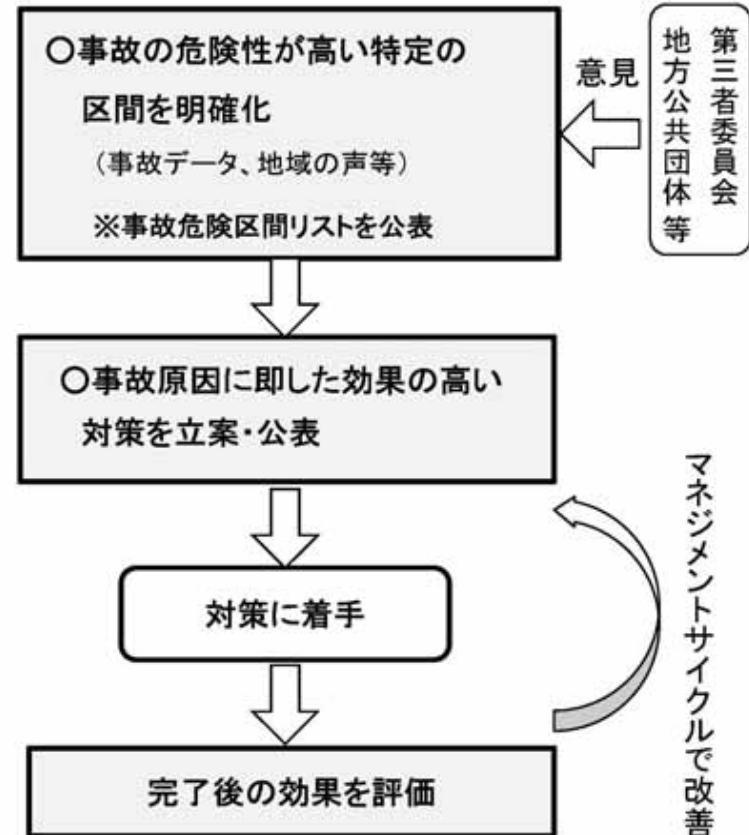
【交通事故の発生は特定の箇所に集中】



【事故要因に即した対策の立案(イメージ)】



【「成果を上げるマネジメント」の流れ】



9 . 新ハラハラ箇所 (案)

9 - 1 . 成果を上げるマネジメントへの移行

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

成果マネジメント

新ハラハラ箇所の抽出

10. 今後の方針

➤ 平成17年12月より長野県安全性向上検討委員会にて議論してきた類似の取り組みが「成果を上げるマネジメント(交通安全分野)」、として国の新しい取り組みへ導入されたものであり、基本的な考え方は今までの委員会で議論した内容と同様であり、現ハラハラと新ハラハラの考え方を下記に示します。

現ハラハラ

箇所抽出について

- 1) 死傷事故に関わるデータから
 - ・長野県内の特徴的な事故から抽出

マネジメントについて

- ・PDCAサイクルにて実施

新ハラハラ

箇所抽出について

- 1) 死傷事故に関わるデータから
 - ・長野県内の特徴的な事故から抽出
- 2) 地域の声等
 - ・地域の方々の声や公安委員会の指摘等から安全性の危惧される箇所を抽出

マネジメントについて

- ・PDCAサイクルにて実施

➤ 上記の基本的な考え方も基に、新ハラハラ箇所(案)の抽出について次ページより行っています。

9. 新ハラハラ箇所（案）

9-2. 新ハラハラ箇所（案）の抽出

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォローアップ
- 6. 新たな箇所
- 7. パプコメ
- 8. 新イライラ箇所
- 9. 新ハラハラ箇所
成果マネジメント
新ハラハラ箇所の抽出
- 10. 今後の方針

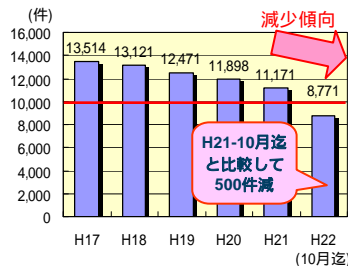
➤ 新たなハラハラ箇所に対する取組に関しては、9-2で示した『成果を上げるマネジメント』に移行するものとし、本委員会においては、現ハラハラ箇所に対する経過観察や継続的な対策実施、対策内容検討を進めることとします。

➤ 『成果を上げるマネジメント』における交通事故危険区間については、県内の事故特性を踏まえ、以下の考え方に基づいて抽出を行うこととします。また公安委員会や地域の声を反映した「安全性の危惧」についても別途考慮することとします。

交通事故危険区間の抽出の考え方

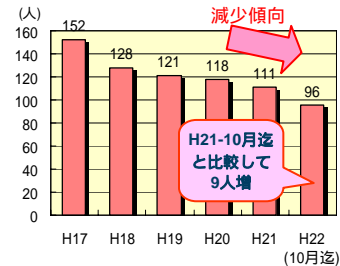
死傷事故件数の推移

減少傾向であるものの、毎年1万件を上回る事故が発生



死者数の推移

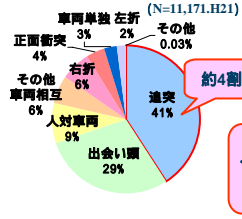
減少傾向であるものの、今年は例年を上回るペースで発生



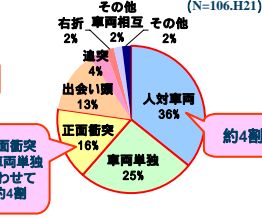
県内の事故特性分析

死傷事故では追突事故、死亡事故では自転車・歩行者事故及び、正面衝突・車両単独といった車線逸脱事故、高齢者の事故、夜間事故が目立つ

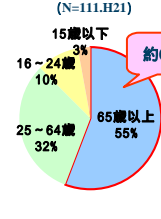
<事故類型別死傷事故件数>



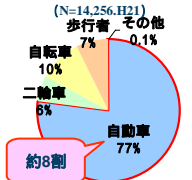
<事故類型別死亡事故件数>



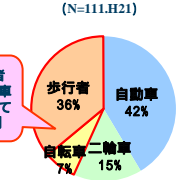
<年齢別死者数>



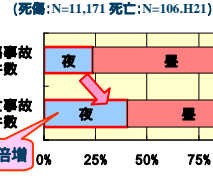
<当事者別死傷者数>



<当事者別死者数>



<昼夜別死亡事故件数>



A. 事故多発区間：死傷事故の削減

死傷事故件数 (県平均の概ね5倍以上)

B. 死亡事故多発区間：死亡事故の削減

死者数 (1人/4年以上)

C. 特徴的な区間：県内の事故特性に対応した事故の削減

自転車・歩行者事故件数
夜間事故件数
高齢者事故件数
正面衝突・車両単独件数
追突事故件数

(県平均事故件数の概ね5倍以上)

D. 安全性の危惧：地域の声の反映

地域の声 (パプコメ意見含む)
公安委員会からの指摘 (新事故危険箇所含む)

E. ハラハラ箇所：これまでの取り組みの継続

H18ハラハラ箇所
新たな候補箇所

県内の特性をふまえた抽出指標の選定

9. 新ハラハラ箇所（案）

9-2. 新ハラハラ箇所（案）の抽出

1. 概要

➢ 交通事故危険区間については、「A. 事故多発区間」、「B. 死亡事故多発区間」、「C. 特徴的な区間」、「D. 安全性の危惧」に関する各基準にしたがって抽出を行っています。

2. 道路現況

➢ リストD（新たなハラハラ箇所）は、整備効果の早期発現性、事故多発箇所（過去3年間の県内人身事故ワースト5から）、地元との取組状況、計画の熟度等から代表的な箇所を抽出しています。（ ）

3. 新たな取組

交通事故危険区間の抽出フロー

4. 第7回位置付け

長野県内の幹線道路 [17,652区間]

5. フォローアップ

死傷事故率100件/億台キロ以上 [2,848区間]
または死傷事故件数7件/4年以上（長野県平均の5倍） [963区間]

6. 新たな箇所

[2,959区間]

7. パブコメ

A. 事故多発区間

死傷事故率比

[463区間]
（県平均の概ね5倍以上）

B. 死亡事故多発区間

死者数 [104区間]
（1人/4年以上）

C. 特徴的な区間

自転車・歩行者事故件数 [639区間]
夜間事故件数 [1,110区間]
高齢者事故件数 [516区間]
正面衝突・車両単独件数 [85区間]
追突事故件数 [878区間]
各項目のうち3項目以上に該当した区間を抽出。各指標は、県平均事故件数の概ね5倍以上の区間を対象

D. 安全性の危惧

地域の声（パブコメ意見含む） [822区間]
公安委員会からの指摘（新事故危険箇所含む） [66区間]

E. ハラハラ箇所

H18ハラハラ箇所 [50箇所]
H21ハラハラ候補箇所 [9箇所]

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

成果マネジメント

新ハラハラ箇所の抽出

10. 今後の方針

[463区間]

リストB

[104区間]

リストC

[444区間]

[888区間]

[59箇所]

1593区間（重複あり）

対策完了箇所を除外し連続する区間を1箇所に集約

721箇所

H21ハラハラ候補箇所
9箇所

未対策・対策継続箇所
15箇所

対策済み：35箇所

事故対策実施環境を踏まえて、代表的な箇所を抽出

[29箇所]

リストD = 新ハラハラ箇所（案）

新たなハラハラ抽出箇所（案）：38箇所

未対策・対策継続箇所
15箇所

経過観察：35箇所

PDCAサイクルに基づく評価

9 . 新ハラハラ箇所 (案)

< 個別箇所PDCA >

9 - 2 . 新ハラハラ箇所 (案) の一覧 (H18ハラハラ箇所)

1. 概要

➤ H18ハラハラ箇所50箇所は全箇所新ハラハラ箇所に移行させ、35箇所の経過観察箇所(H23開始含む)は効果把握を行うとともに、残る15箇所は引き続き対策継続もしくは対策内容の検討を推進します。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パプコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

成果マネジメント

新ハラハラ箇所の抽出

10. 今後の方針

Plan

No.	路線名	場所	Plan			Do		Check	Action	(参考) 対策事業(想定含む)
			検討中	計画済	調査済	準備中	実施中	完了		
1	一般国道18号	上田市住吉							経過観察	交通安全対策
2	一般国道18号	長野市浅野								交通安全対策
3	一般国道18号	飯綱町牟礼駅入口								牟礼駅入口交差点改良
4	一般国道19号	長野市下水鉋南							経過観察	交通安全対策
5	一般国道19号	松本市井川城口							経過観察	交通安全対策
6	一般国道19号	塩尻市宗賀								交通安全対策
7	一般国道19号	大桑村長野							経過観察	交通安全対策
8	一般国道20号	富士見町富士見付近								富士見歩道設置
9	一般国道20号	富士見町小手沢							経過観察	交通安全対策
10	一般国道20号	諏訪市諏訪1丁目付近							経過観察	上諏訪電線共同溝
11	一般国道141号	小諸市赤坂								交通安全対策
12	一般国道153号	飯田市東平							経過観察	交通安全対策
13	一般国道18号	長野市稲葉付近							経過観察	交通安全対策
14	一般国道19号	木祖村敷原							経過観察	交通安全対策
15	一般国道19号	塩尻市宗賀							経過観察	交通安全対策
16	一般国道19号	松本市潜1丁目							経過観察	交通安全対策
17	一般国道117号	長野市青木島町大塚							経過観察	青木島拡幅
18	一般国道143号	松本市岡田付近								岡田拡幅
19	一般国道147号	大町市大町旭町							経過観察	未対策(改善傾向箇所)
20	一般国道153号	飯田市中村								安全対策
21	一般国道153号	飯田市大瀬木 - 飯田インター入口							経過観察	交通安全対策
22	一般国道153号	飯田市鼎名古能							経過観察	交通安全対策
23	一般国道406号	長野市茂菅付近								検討中
24	一般国道406号	須坂市村山町大割							経過観察	村山橋
25	(主)伊那那野停車場線	伊那市上牧								伊那バイパス
26	(主)長野上田線	千曲市上山田町								三本木
27	(主)下諏訪辰野線	岡谷市川岸上1丁目 - 川岸保育園前								成田町岡谷川岸線
28	一般国道18号	上田市国分西 - 中央5丁目							経過観察	交通安全対策
29	一般国道18号	長野市南警察西							経過観察	交通安全対策
30	一般国道18号	長野市西尾張部							経過観察	交通安全対策
31	一般国道19号	木曾町福島							経過観察	事故危険箇所対策(伊谷交差点)
32	一般国道19号	木曾町日義								交通安全対策
33	一般国道19号	木祖村敷原							経過観察	事故危険箇所対策(敷原北交差点)
34	一般国道19号	塩尻市賢川							経過観察	交通安全対策
35	一般国道19号	塩尻市大門七区								交通安全対策
36	一般国道19号	松本市芳川村井付近							経過観察	交通安全対策
37	一般国道19号	松本市野溝							経過観察	交通安全対策
38	一般国道19号	信州新町新町付近								新町歩道設置
39	一般国道20号	諏訪市諏訪インター							経過観察	諏訪IC交差点改良
40	一般国道20号	岡谷市今井付近								国道20号下諏訪岡谷バイパス
41	一般国道20号	塩尻市棧敷付近							経過観察	小坂田公園交差点改良
42	一般国道142号	佐久市跡部付近								佐久南拡幅
43	一般国道144号	上田市本原付近								上野バイパス
44	一般国道147号	松本市島内							経過観察	高家バイパス
45	一般国道151号	飯田市川路田中							経過観察	未対策(改善傾向箇所)
46	一般国道153号	根羽村下町							経過観察	交通安全対策
47	一般国道153号	飯田市上殿岡							経過観察	交通安全対策
48	一般国道403号	須坂市井上町幸高								幸高 - 井上拡幅
49	(主)岡谷茅野線	諏訪市大熊								湖南
50	(主)長野真田線	長野市下水鉋付近								小島田

9 . 新ハラハラ箇所 (案)

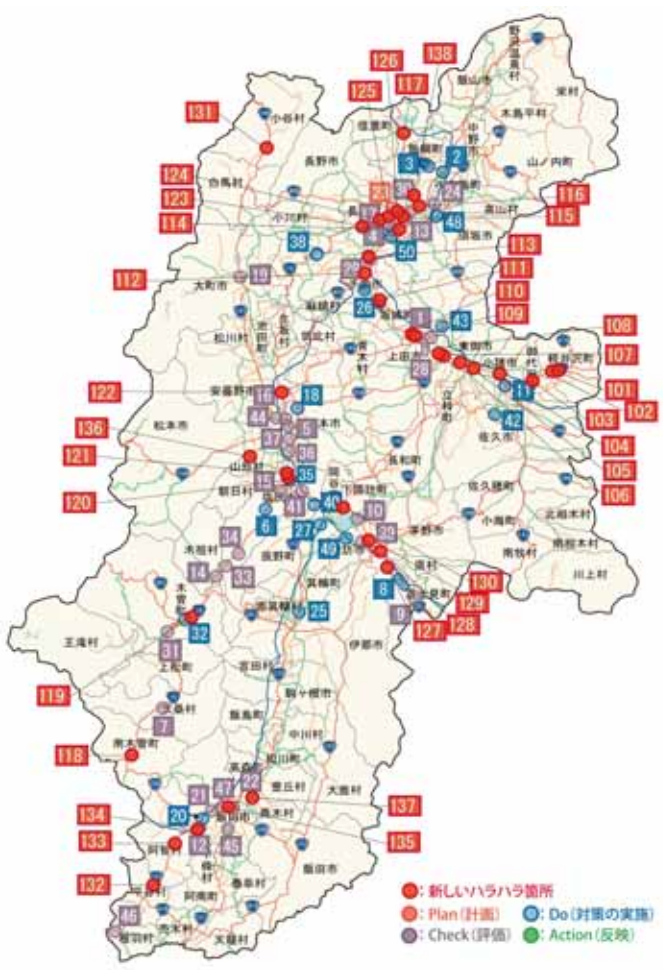
9 - 2 . 新たなハラハラ抽出箇所 (案) の一覧

< 個別箇所PDCA >

- 1. 概要
- 2. 道路現況
- 3. 新たな取組
- 4. 第7回位置付け
- 5. フォロ-アップ
- 6. 新たな箇所
- 7. パブコメ
- 8. 新イライラ箇所
- 9. 新ハラハラ箇所
成果マネジメント
新ハラハラ箇所の抽出
- 10. 今後の方針

▶最新のデータならびに地元要望などをふまえ、38箇所を新たなハラハラ抽出箇所(案)としました。

Plan



No.	路線名	場所(交差点名等)
101	一般国道18号	軽井沢町追分～長倉付近
102	一般国道18号	軽井沢町浅間サンライン入口交差点
103	一般国道18号	御代田町馬瀬口付近
104	一般国道18号	小諸市諸付近
105	一般国道18号	東御市滋野乙付近
106	一般国道18号	東御市常田交差点
107	一般国道18号	上田市大屋付近
108	一般国道18号	上田市大屋交差点
109	一般国道18号	上田市常磐城～上田市秋和付近
110	一般国道18号	上田市上塩尻東交差点
111	一般国道18号	千曲市磯部～坂城町坂城付近
112	一般国道18号	千曲市杭瀬下交差点
113	一般国道18号	長野市篠ノ井橋南交差点
114	一般国道18号	長野市青木島町綱島交差点
115	一般国道18号	長野市上高田北交差点
116	一般国道18号	長野市北尾張部～長野市北長池付近
117	一般国道18号	信濃町古間付近
118	一般国道19号	南木曾町読書付近
119	一般国道19号	木曾町原野交差点
120	一般国道19号	塩尻市九里巾交差点
121	一般国道19号	塩尻市堅石原工業団地入口交差点
122	一般国道19号	安曇野市田沢交差点
123	一般国道19号	長野市安茂里小市付近
124	一般国道19号	長野市安茂里付近
125	一般国道19号	長野市バスターミナル前交差点
126	一般国道19号	長野市役所前駅交差点
127	一般国道20号	茅野市金沢木舟付近
128	一般国道20号	茅野市宮川交差点
129	一般国道20号	諏訪市四賀桑原交差点
130	一般国道20号	下諏訪町矢木東付近
131	一般国道148号	北安曇郡小谷村雨中
132	一般国道153号	平谷村勅付近
133	一般国道153号	阿智村恩田～智里付近
134	一般国道153号	阿智村春日交差点
135	一般国道153号	飯田市名古屋西交差点
136	(主)塩尻鍋割穂高線	東筑摩郡山形村上竹田
137	(一)上飯田線	下伊那郡喬木村馬場
138	(一)長野豊野線	長野市三才

10. まとめ・今後の方針

<プランPDCA>

<個別箇所PDCA>

10-1. H22選定の新イライラ箇所・ハラハラ箇所

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

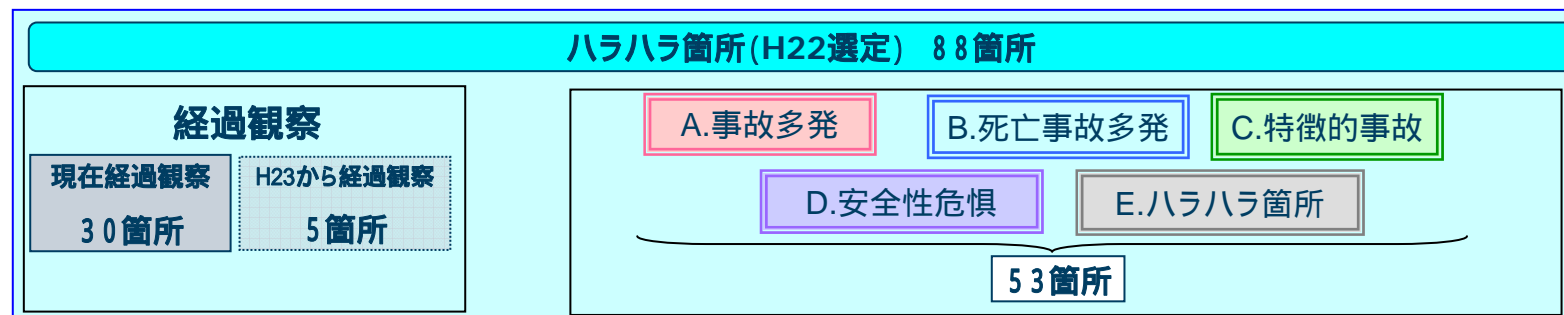
<イライラ箇所>

- H22選定のイライラ箇所は、H18イライラ箇所52箇所と新たな抽出箇所8箇所の合計60箇所となります。
- 現在対策事業中の箇所や、今後対策着手もしくは対策内容検討を行う箇所は46箇所あります。
- また、対策事業が完了した14箇所については、対策効果の継続的な把握を行い、「Check」を実施します。



<ハラハラ箇所>

- H22選定のハラハラ箇所は、H18ハラハラ箇所の50箇所と新たな抽出箇所38箇所の合計88箇所となります。
- 現在対策事業中の箇所や、今後対策着手もしくは対策内容検討を行う箇所は53箇所あります。
- また、対策事業が完了した35箇所については、対策効果の継続的な把握を行い、「Check」を実施します。



10. まとめ・今後の方針

<プランPDCA>

10-2. 今後の「PDCAサイクル」の考え方（「長野県事故ゼロプラン」の推進）

1. 概要

➤新イライラ箇所・新ハラハラ箇所では、引き続きPDCAサイクルを推進します。

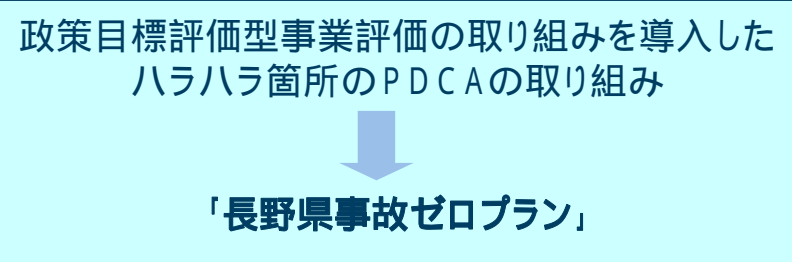
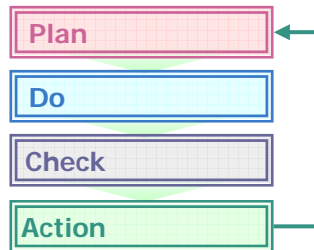
2. 道路現況

➤交通安全分野の政策目標評価型事業評価「成果を上げるマネジメント」の取り組みとして、新ハラハラ箇所の個別箇所PDCAの取り組みを「長野県事故ゼロプラン」として、今後、積極的な取り組みの周知や情報提供を図ります。

3. 新たな取組

PDCAサイクルの進め方

【Action(反映)の概要】



4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

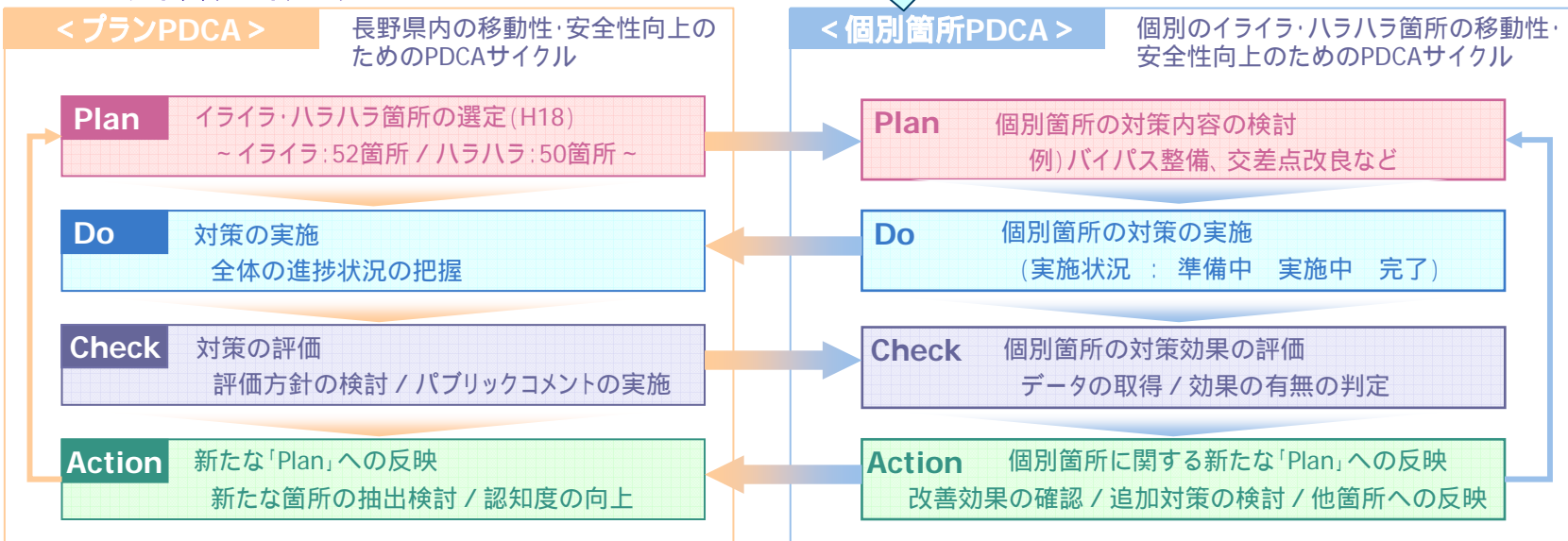
新イライラ・ハラハラ

事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

<PDCAサイクルのイメージ>



10. まとめ・今後の方針

10-2. 「長野県事故ゼロプラン」の推進

1. 概要

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

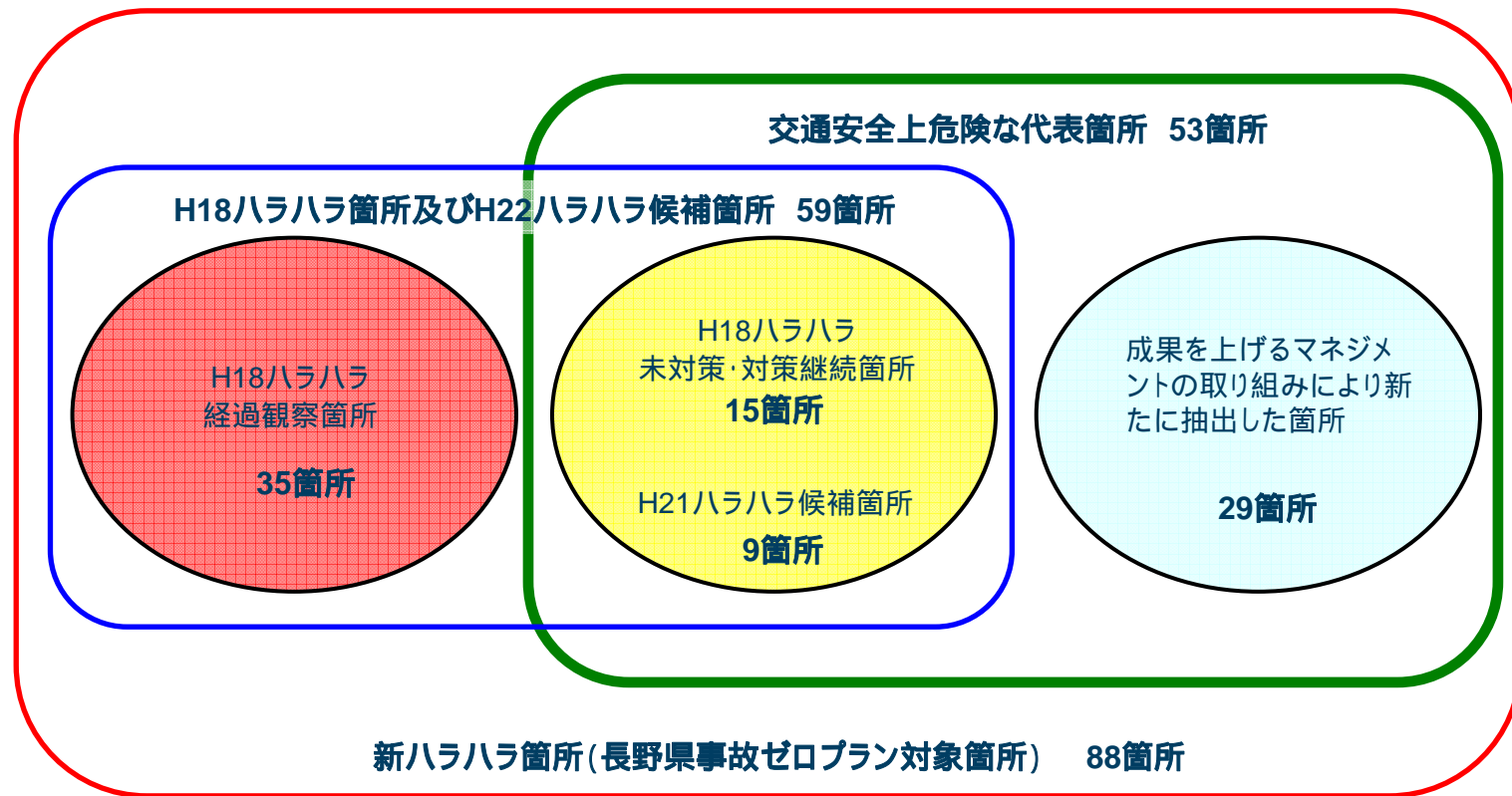
事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

➤ H18ハラハラ箇所と新ハラハラ箇所の概念図は下記のとおりです。交通安全上危険な代表箇所である53箇所について、個別PDCAの取り組みを適用し「長野県事故ゼロプラン」として推進して行きます。

新ハラハラ箇所と事故ゼロプラン



10. まとめ・今後の方針

10-2. 「長野県事故ゼロプラン」の推進

1. 概要

➤ 抽出の結果、長野県内において53箇所の交通事故危険区間が選定されました。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

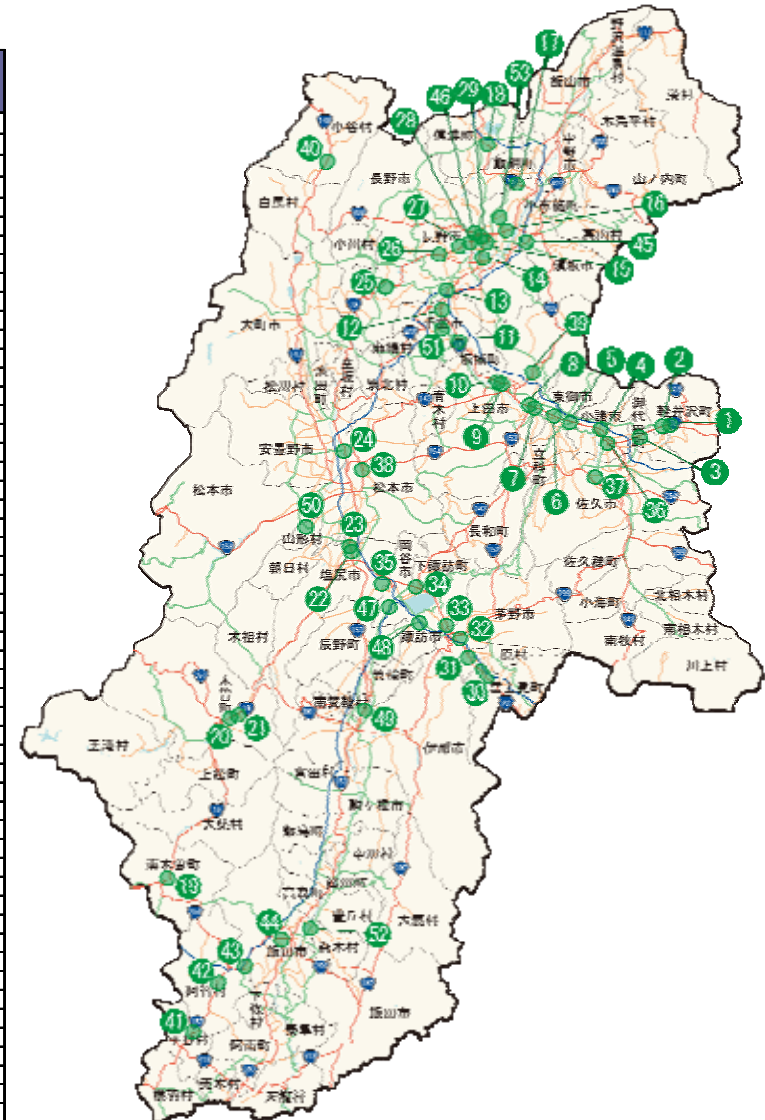
事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

選定された交通事故危険区間(案)

No	路線名	場所(交差点名等)	選定理由(抽出指標)					ハラハラ箇所No
			A.事故多発	B.死亡事故多	C.特徴的事故	D.安全性危惧	E.ハラハラ箇所	
1	一般国道18号	軽井沢町追分～長倉付近						101
2	一般国道18号	軽井沢町浅間サンライン入口交差点						102
3	一般国道18号	御代田町馬瀬口付近						103
4	一般国道18号	小諸市諸付付近						104
5	一般国道18号	東御市滋野乙付近						105
6	一般国道18号	東御市常田交差点						106
7	一般国道18号	上田市大屋付近						107
8	一般国道18号	上田市大屋交差点						108
9	一般国道18号	上田市常盤城～上田市秋和付近						109
10	一般国道18号	上田市上塩尻東交差点						110
11	一般国道18号	千曲市磯部～坂城町坂城付近						111
12	一般国道18号	千曲市杭瀬下交差点						112
13	一般国道18号	長野市篠ノ井橋南交差点						113
14	一般国道18号	長野市青木島町綱島交差点						114
15	一般国道18号	長野市上高田北交差点						115
16	一般国道18号	長野市北長張部～長野市北長池付近						116
17	一般国道18号	飯綱町牟礼駅前入口交差点						3
18	一般国道18号	信濃町古間付近						117
19	一般国道19号	南木曾町読書付近						118
20	一般国道19号	木曾町原野交差点						119
21	一般国道19号	木曾町日義付近						32
22	一般国道19号	塩尻市九里巾交差点						120
23	一般国道19号	塩尻市磐石原工業団地入口交差点						121
24	一般国道19号	安曇野市田沢交差点						122
25	一般国道19号	長野市信州新町新町付近						38
26	一般国道19号	長野市安茂里小市付近						123
27	一般国道19号	長野市安茂里付近						124
28	一般国道19号	長野市ハスターミナル前交差点						125
29	一般国道19号	長野市役所前駅交差点						126
30	一般国道20号	富士見町富士見付近						8
31	一般国道20号	茅野市金沢木舟付近						127
32	一般国道20号	茅野市宮川交差点						128
33	一般国道20号	諏訪市四賀桑原交差点						129
34	一般国道20号	下諏訪町矢木東付近						130
35	一般国道20号	岡谷市今井付近						40
36	一般国道141号	小諸市赤坂交差点						11
37	一般国道142号	佐久市跡部						42
38	一般国道143号	松本市岡田						18
39	一般国道144号	上田市本原						43
40	一般国道148号	北安曇郡小谷村雨中						131
41	一般国道153号	平谷村勸付付近						132
42	一般国道153号	阿智村恩田～智里付近						133
43	一般国道153号	阿智村春日交差点						134
44	一般国道153号	飯田市名古熊西交差点						135
45	一般国道403号	須坂市井上町幸高						48
46	一般国道406号	長野市茂菅						23
47	(主)下諏訪辰野線	岡谷市川岸						27
48	(主)岡谷茅野線	諏訪市大熊						49
49	(主)伊那辰野停車場線	伊那市上牧						25
50	(主)塩尻鍋割穂高線	東筑摩郡山形村上竹田						136
51	(主)長野上田線	千曲市上山田町						26
52	(一)上飯田線	下伊那郡喬木村馬場						137
53	(一)長野豊野線	長野市三才						138



10.まとめ

10-2. 「長野県事故ゼロプラン」の推進モデル

1. 概要

- 推進モデル箇所として、塩尻市の国道19号九里巾交差点周辺の対策が挙げられます。
- 地域の方々と交通状況の現地点検を行い、当該地区に相応しい対策内容について検討を行っております。

2. 道路現況

「長野県事故ゼロプラン」推進モデル 国道19号 九里巾交差点周辺(塩尻市内広丘野村)

3. 新たな取組

箇所概要

- ・松本市中心部と塩尻市中心部を結ぶ幹線道路
- ・日交通量は、約2万6千台(H17センサス)で大型車も数多く通行(大型車混入率19.3%)



4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

事故ゼロプラン

パブコメ

8回実施予定

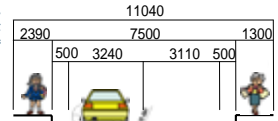
道路交通状況

右折車両による左直車両の走行阻害
の走行阻害
予告灯が青現示時においても滞留



交差道路の食い違いが生じており、交差点形状が大きくなるため車両導線が不安定になる

現況幅員(1-1)



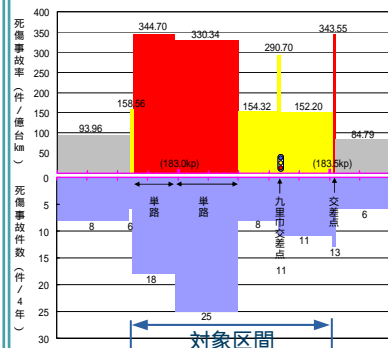
下り勾配きついカーブ区間に交差点があるため、追突事故が発生しやすい

交差点直近にバス停があり、バス停車時には追い越し不可

右折不可

事故状況

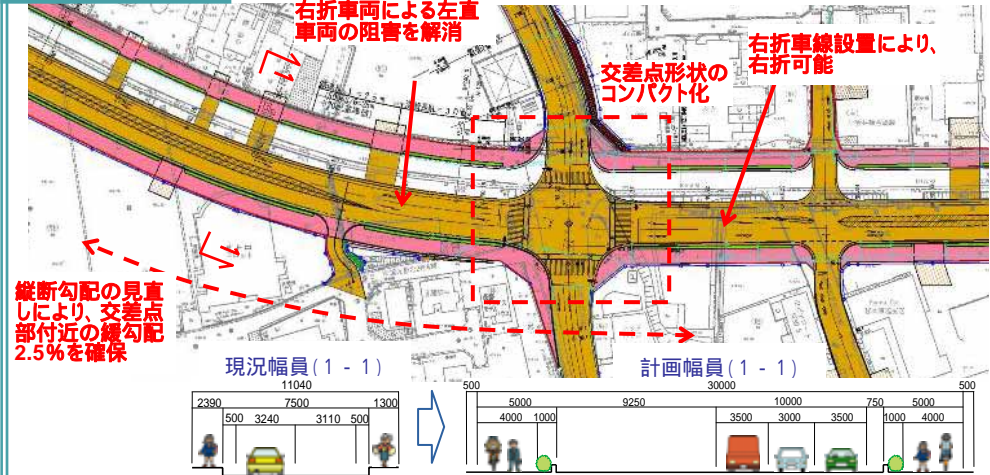
- ・九里巾交差点前後約700mの区間で死傷事故が4年間で86件発生。死傷事故率も100件/億台キロ以上の区間が連続。
- ・事故類型別にみると、約5割が追突事故



事故類型別 死傷事故件数 (H17-20)

事故類型	件数	比率
人対車両	3	3%
正面衝突	2	2%
追突	41	48%
出会い頭	17	20%
右折時	5	6%
左折時	8	9%
その他車両相互	3	3%
車両単独	2	2%
その他・不明	5	6%

対策案



10.まとめ・今後の方針

<プランPDCA>

10-3. 県民・道路利用者意見の把握

1. 概要

➤ 新イライラ・ハラハラ箇所の整備優先度に関する県民の皆様や道路利用者のニーズ把握や、満足度の確認を行うため、パブリックコメントを行う予定です。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォローアップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

パブリックコメント	
目的	対策の認知度の把握（昨年度アンケートとの比較） 新しいイライラ・ハラハラ箇所の対策優先度に関する道路利用者のニーズ把握 すでに事業を実施した箇所に関する、対策効果、県民の満足度の確認 道路利用時の問題・課題の収集
実施時期	平成23年1月～2月(予定)
調査対象	パンフレット、道路事業者ホームページ等でパブリックコメント実施案内をご覧になった方 道路行政に関心があり自主的に回答いただける方 前回パブリックコメント時は847件の回答
調査方法	・パンフレットに質問、返信ハガキ(キリトリ式)を掲載 ・ホームページの専用サイト上またはメールにて回答
設問内容	属性 ・居住地、性別、年齢、外出頻度、主な交通手段 本取組の認知度 ・本取組の認知度 ・本取組に対する意見 ・経年的な整備効果の把握 ・各取組に対する満足度 イライラ・ハラハラ箇所の整備優先度 ・優先されるべき課題 県民満足度 ・道路行政全般に関する満足度 ・道路整備の実施にあたり特に重視すべき点

10.まとめ・今後の方針

<プランPDCA>

<個別箇所PDCA>

10-4. 第8回委員会の予定

1. 概要

- 第8回委員会は平成23年3月中下旬の開催を予定しています。
- 第8回委員会では、「Do(実施)」「Check(評価)」が主な検討内容となります。

2. 道路現況

3. 新たな取組

4. 第7回位置付け

5. フォロ-アップ

6. 新たな箇所

7. パブコメ

8. 新イライラ箇所

9. 新ハラハラ箇所

10. まとめ

新イライラ・ハラハラ

事故ゼロプラン

パブリックコメント

8回実施予定

Plan

～計画～

第1～第3回移動性・安全性向上検討委員会

< H19.3.20 > 「イライラ(移動性障害)箇所見える化プラン」及び「ハラハラ(安全性要対策)箇所見える化プラン策定

< H22.12 > 新イライラ・ハラハラ箇所の選定

～第8回委員会の検討項目(案)～

新たなイライラ・ハラハラ箇所における対策内容について

Do

～実施～

< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催

< H20.2 > 対策事業に関するパブリックコメントの実施

< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催

新イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況について

Check

～評価～

< H20.1.31 > 第4回移動性・安全性向上検討委員会開催

< H20.3 > 第5回移動性・安全性向上検討委員会の開催

< H21.12 > 第6回移動性・安全性向上検討委員会の開催

H23パブリックコメントの実施結果

Action

～反映～

< H22.1 > 対策効果及び新たな箇所に関するパブリックコメント実施

< H22.12 > 第7回移動性・安全性向上検討委員会